

NEC

レンタル品

○○○ Aterm® WR9500N(KP) ○○○

無線LANご利用ガイド (K) 第1版

ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと
も大切に保管してください。



The logo for XSPAN Atheros, featuring the word "XSPAN" in a bold, sans-serif font with a registered trademark symbol, and "ATHEROS" in a smaller, all-caps sans-serif font below it.

技術基準適合認証品

はじめに

エターネット

『AtermWR9500N (KP)』は、有線LANに接続してIEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g対応の無線LANのアクセスポイントとして使用することができます。

ご利用いただける無線LAN端末（子機）の最新情報は、別紙に記載のホームページなどをご確認ください。



お知らせ

- 本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
AtermWR9500N	WR9500N (KP) または無線LANアクセスポイント（親機）

Atermは、日本電気株式会社の登録商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista®はオペレーティングシステムです。

Mac、Macintosh、Mac OS、AirMac、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Atheros、XSPANのロゴは、Atheros Communications, Inc.の商標であり、NECアクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。

その他、各会社名、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2012、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2012

日本電気株式会社およびNECアクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

目次

目次	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください		3
1 はじめにお読みください	1-1
1-1 WR9500N (KP) でできること	1-2
1-2 添付品を確認する	1-3
1-3 各部の名前とはたらき	1-4
1-4 あらかじめ確認してください (パソコンをご利用の場合)	1-7
2 設置・接続	2-1
2-1 設置する	2-2
2-2 接続する	2-8
3 設定する	3-1
3-1 クイック設定Webで設定をおこなうには	3-2
3-2 無線のセキュリティ対策をする	3-5
3-3 USBポートのご利用について	3-15
3-4 ECOモードにする	3-30
3-5 クイック設定Webの設定画面について	3-34
4 無線LAN端末（子機）を接続する	4-1
4-1 無線LAN端末（子機）からの通信を確立する	4-2
5 お困りのときには	5-1
5-1 トラブルシューティング	5-2
5-2 初期化する	5-14
6 付録	6-1
6-1 製品仕様	6-2

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

- ⚠ 警 告** :人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注意** :人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願い** :本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



発火注意



感電注意



高温注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止

■ 行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警 告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。



また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

- 本商品のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。



！警 告

- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。感電、故障の原因となります。  
- ACアダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。  
- 本商品のACアダプタは日本国内AC100V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。  
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。  
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。  

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。    
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。    
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。    
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。    

！警 告

- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。



禁止事項

- 本商品は家庭用の通信機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。



- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



- 本商品の内部や周囲でエアダスター やダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。



その他のご注意

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。



- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因になることがあります。



また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、カップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。



人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

⚠ 注意

- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。



- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災^(*)の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。



- ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災^(*)の原因となることがあります。また、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。



※周囲の状況やトラッキングによる火災の可能性がありますので、十分な注意をお願いします。

- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。



⚠ 注意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。  
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、おこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。 
- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。 

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。 
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。 
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。 

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ、他のアクセスポイントなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。

STOP お願い

- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろの手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがあります、構造上および機能上は問題ありません。

無線LANに関するご注意

- 無線LANの規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信をおこなったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製IEEE802.11n準拠製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz帯域の屋外での使用は、電波法により禁止されています。

USBポートに関するご注意

- USBポートに接続したUSBデバイス内のファイルへアクセス中に、USBデバイスやパソコンを本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりますして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN端末や無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

※装置初期状態では無線暗号化が設定されており、盗聴・不正侵入の危険を減らしております。無線暗号化なしの設定は上記のリスクが増大しますので、おやめください。

なお、セキュリティ対策についてはP3-5をご参照ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

■電波に関する注意事項

- 本商品は技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は、IEEE802.11n (5GHz) およびIEEE802.11a通信利用時は5GHz帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- IEEE802.11aで使用するチャネルは36,40,44,48ch (W52) と52,56,60,64ch (W53) と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) です。無線LANアクセスポイント（親機）としては、従来のIEEE802.11aで使用の34,38,42,46ch (J52) の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。



- W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch),
W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch),
W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。

IEEE802.11aで接続する無線LAN端末（子機）として利用する機器は、以下の表示があるものを推奨します。

- W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch)
· W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch)
· W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
- W53 (52/56/60/64ch) またはW56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。2.4GHz帯使用のBluetooth機器との通信はできません。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 :2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF:DS-SS方式およびOFDM方式を示す
- 4 :想定される干渉距離が40m以下であることを示す
- :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」ととの間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別途示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

1

はじめにお読みください

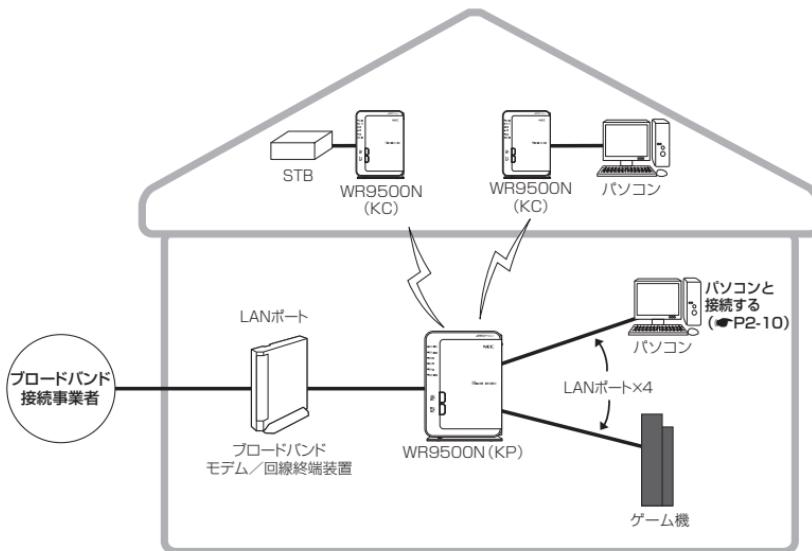
1

WR9500N (KP) を設置、接続する前に必ず
確認しておきましょう。

1-1	WR9500N (KP) でできること	1-2
1-2	添付品を確認する	1-3
1-3	各部の名前とはたらき	1-4
1-4	あらかじめ確認してください (パソコンをご利用の場合)	1-7

1-1 WR9500N (KP) でできること

本商品は有線LANに接続してIEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g対応の無線LANのアクセスポイントとして使用することができます。



- ご利用いただける無線LAN端末（子機）についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。

1-2 添付品を確認する

設置をはじめる前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別途示すお問い合わせ先にご連絡ください。

●添付品

WR9500N (KP)

※保護シートが貼ってありますので、
はがしてご利用ください。



スタンド



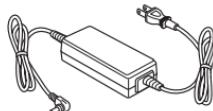
LANケーブル

(白色/約50cm/カテゴリ5eストレート)



ACアダプタ

(品番: AL1-003057-001)

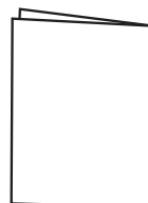


※ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。感電、故障の原因となります。

無線LANご利用ガイド (本書)

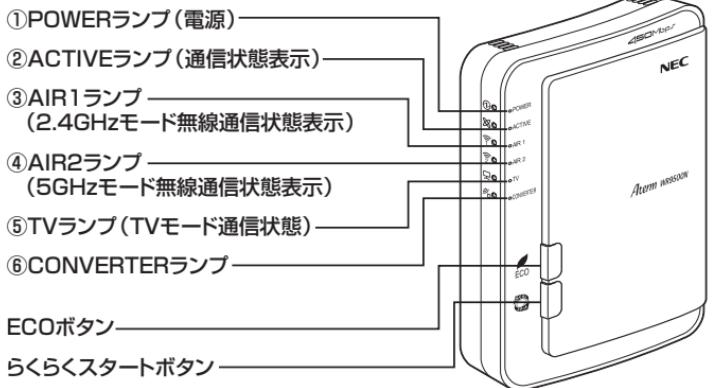


つなぎかたガイド (別紙)



1-3 各部の名前とはたらき

前面／側面（表）図



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	状態
① POWERランプ (電源) 	緑(点灯)	電源が入っているとき
	緑(点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき
	緑(遅い点滅)	ECOモード起動中
	緑橙(点滅)	WPSで無線設定中
	橙(点灯) (※2)	ファームウェアをバージョンアップしているとき らくらく無線スタートの設定が完了したとき WPSで無線設定が完了したとき USBポートに接続したデバイスにデータを書き込んでいるとき
	橙(点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき
	赤(点灯)	らくらく無線スタートに失敗したとき
	赤(点滅)	初期化準備状態 WPSで無線設定が失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき
② ACTIVEランプ (通信状態表示) 	橙(点灯)	無線LANアクセスポイントモードのとき
	橙(点滅)	無線LANアクセスポイントモードでIPアドレスを競合検出したとき (→P5-4)

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	状態
③ AIR1ランプ (2.4GHzモード無線通信状態表示) (※1) 	緑(点灯)	2.4GHzモードで通信可能なとき
	緑(速い点滅)	2.4GHzモードでデータ送受信しているとき
	消灯	無線LANを使用していないとき
④ AIR2ランプ (5GHzモード無線通信状態表示) (※1) 	緑(点灯)	5GHzモードで通信可能なとき
	緑(速い点滅)	5GHzモードでデータ送受信しているとき
	赤(点滅)	5GHzモードでW53、W56を設定した場合、またはされている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波(レーダー波)がないか検出しているとき
	消灯	無線LANを使用していないとき
⑤ TVランプ (TVモード通信状態) (※1) 	緑(点灯)	TVモードを「使用する」に設定しているとき → クイック設定Webの「無線LAN設定」- [無線LAN詳細設定] の [TVモード] にて設定。
		5GHzモードかつ拡張モードでWR9500N (KC) またはWL300NE-AGとリンクが確立しているとき
	赤(点滅)	5GHzモードでW53、W56を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波(レーダー波)がないか検出しているとき
	消灯	TVモードを「使用する」に設定していない状態(初期値)で、5GHzモードかつ拡張モードでWR9500N (KC) またはWL300NE-AGとリンクが確立していないとき
⑥ CONVERTERランプ (※1) 	消灯	無線LANアクセスポイント(親機)として動作しているとき

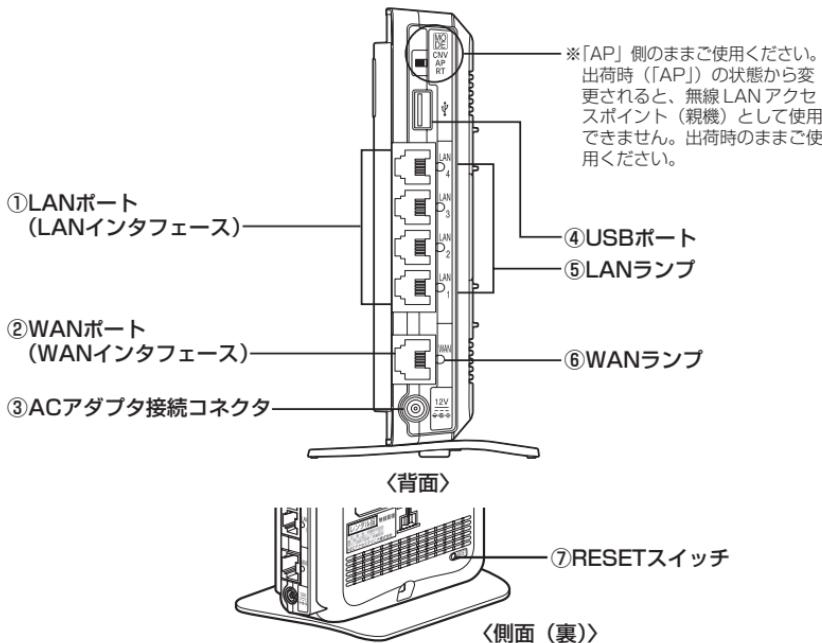
(※1) ECOモード起動中は消灯します。(→P3-31)

(※2) フームウェアまたは設定情報を自動的に書き換えている場合も、POWERランプが橙点灯しますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。

【設定ボタン】

名 称	説 明
ECOボタン	ECOモードに設定するときに使用します。(→P3-31)
らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。

背面図／側面（裏）図



名 称	説 明	
① LANポート (LANインターフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
② WANポート (WANインターフェース)	ブロードバンドモ뎀／回線終端装置と接続します。	
③ ACアダプタ接続コネクタ	WR9500N用ACアダプタを接続します。	
④ USBポート	USBデバイスを接続するためのポートです。（☞P3-15）	
⑤ LANランプ (※1)	緑（点灯）	LANポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	LANポートのリンクが確立していないとき
⑥ WANランプ (※1)	緑（点灯）	WANポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	WANポートがデータ送受信しているとき
	消灯	WANポートのリンクが確立していないとき
⑦ RESETスイッチ	初期化するときに使用します。（☞P5-15）	

（※1）ECOモード起動中は消灯します。（☞P3-31）

パソコンなどの接続機器の確認

お使いのパソコンがWR9500N (KP) をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・ LANポート (ETHERNETポート) を装備していること (本商品のLANポートに有線で接続する場合)

お使いのパソコンにLANポートがない場合は、本商品の設置をはじめる前に、1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-Tまたは10BASE-Te対応のLANボードまたはLANカードを取り付けておいてください。

- ・ TCP/IPプロトコルスタックに対応していること

必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。

- ・ パソコンのネットワークの設定を確認すること (☞P1-8)

- ・ WWWブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (☞P1-9)

- ・ ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止

本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定をおこなってください。停止しない(起動したままでいる)と無線LANアクセスポイント(親機)の設定ができなかったり、通信が正常におこなえない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)

停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

WWWブラウザのバージョンを確認する

WR9500N (KP) は、以下のWWWブラウザで設定できます。

＜設定できるWWWブラウザ＞

■Windows® 7の場合

Internet Explorer 9.0

■Windows Vista® の場合

Internet Explorer 9.0

■Mac OS X v10.6の場合

Safari 5.0

※指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。正しくご利用いただくためには指定のブラウザでご使用ください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IPアドレスを自動的に取得する」、Mac OSの場合は「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows® 7/Windows Vista® の場合

1 [スタート]（Windows® のロゴボタン） – [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする

※Windows Vista® の場合は、[ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックします。

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする

5 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、
[プロパティ] をクリックする

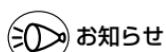


（画面はWindows® 7の例です。）

6 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

7 [OK] をクリックする

8 [閉じる] または [OK] をクリックする



●Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

●ここでは、Windows® 7 の通常表示モード（カテゴリ表示）、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

WWWブラウザの設定確認

WWWブラウザ（Internet Explorerなど）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下はWindows® 7でInternet Explorer 9.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので、詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

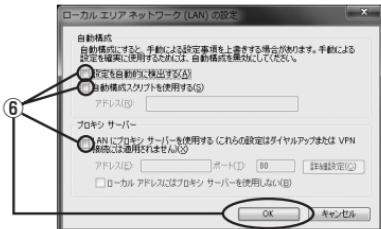
- ① Internet Explorerを起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。

※グレーアウトしている場合は、⑤へお進みください。



- ⑤ [LANの設定] をクリックする。
- ⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを使用する] の□を外して [OK] をクリックする。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。



お知らせ

- プロバイダ専用のCD-ROMやパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品にLAN接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScriptの設定を確認する

WWWブラウザ（クリック設定Web）で設定をおこなうにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。

※ WWWブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

Windows® でInternet Explorerをご利用の場合

以下は、Windows® 7でInternet Explorer 9.0を使用している場合の例です。なお、Windows Vista® で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [インターネットオプション] をクリックする

※Windows Vista® の場合は、[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [クラシック表示] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

3 [サイト] をクリックする

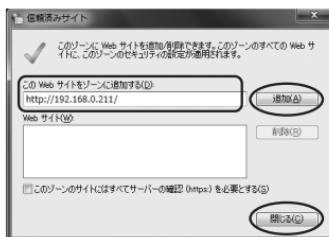
4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする] のチェックを外す



5

【このWebサイトをゾーンに追加する】
に下記例のように本商品のIPアドレスを入力し、【追加】をクリックして、
【閉じる】をクリックする

例：本商品のIPアドレスが「192.168.0.211」の場合
→「<http://192.168.0.211/>」と入力する



※本商品のIPアドレスは、本商品が接続しているネットワークのアドレス体系（☞P5-12）を使用して、末尾を「211」にしたアドレスです。

例：P5-13で確認したアドレスが「192.168.0.3」の場合
→「<http://192.168.0.211/>」と入力する

※本商品のIPアドレスを変更した場合は、
設定したIPアドレスを入力してください。

6

【レベルのカスタマイズ】をクリックする

7

画面をスクロールし、【アクティブ スクリプト】と【ファイルのダウンロード】を【有効にする】に変更し、
【OK】をクリックする

8

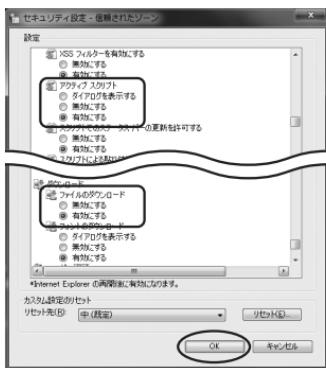
【はい】をクリックする

9

【適用】をクリックする

10

【OK】をクリックする



Mac OSでSafariをご利用の場合

以下は、Mac OS X v10.6でSafari 5.0を使用している場合の例です。

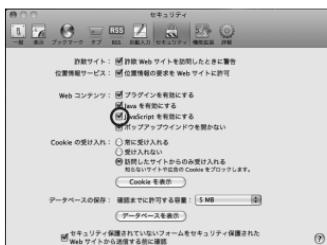
1 Safariを起動する

2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする

3 [セキュリティ] をクリックする

4 [JavaScriptを有効にする] に
チェックを入れる

5 [クローズボタン] をクリックする



2

設置・接続

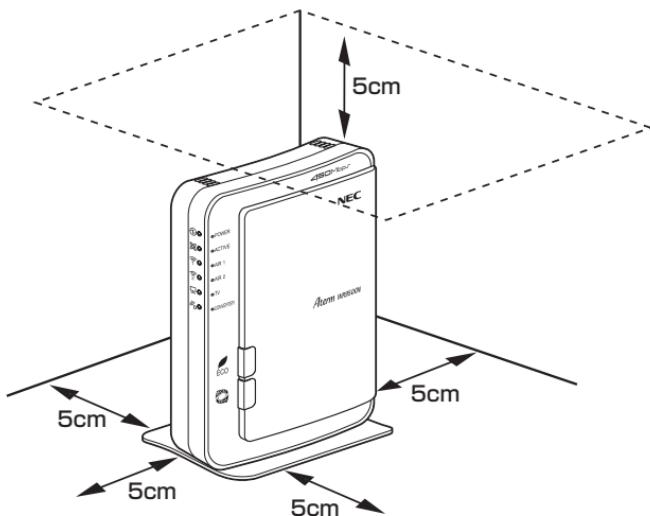
2

2-1	設置する	2-2
2-2	接続する	2-8

2-1 設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

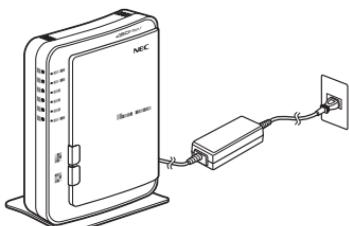
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



警 告

ACアダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- 必ず本商品に添付のものをお使いください。
また、本商品に添付のACアダプタは他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- ACアダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。



注 意

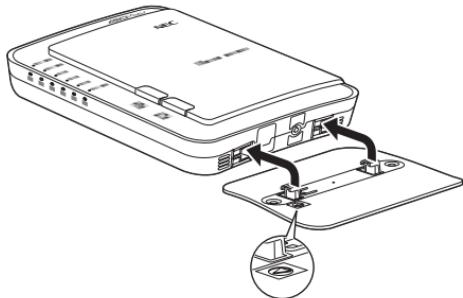
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

縦置きの場合

1

スタンドを本体底面に差し込む

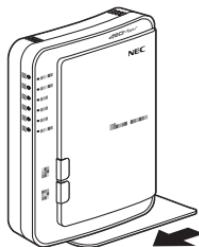
スタンドの▲マークが本体前面方向（ランプ側）になるようにして、スタンドの凸部を本体底面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。



2

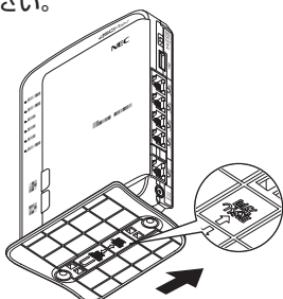
スタンドを矢印の方向にスライドする

「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



スタンドを外す場合は

図のように、スタンドをスタンド裏面の「取外し方向」（本体背面側）へスライドさせて、取り外してください。

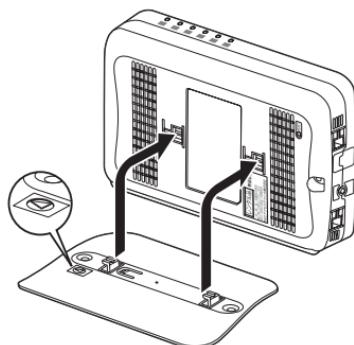


横置きの場合

1

スタンドを本体側面に差し込む

スタンドの▲マークが本体上面方向になるようにして、スタンドの凸部を本体側面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。



2

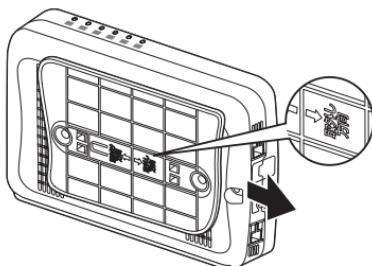
スタンドを矢印の方向にスライドする

「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



スタンドを外す場合は

図のように、スタンドをスタンド裏面の「取外し方向」（本体底面側）へスライドさせて、取り外してください。



壁掛けの場合

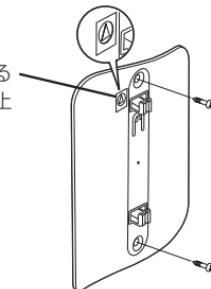


壁掛け用ネジはお客さまでご用意ください。



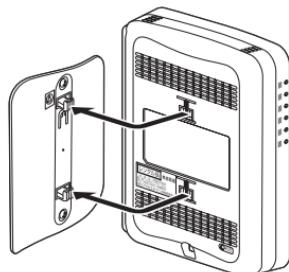
- 1 あらかじめ、添付のスタンドを底面が壁側になるように壁掛け用のネジを取り付ける

▲マークが上になるように壁面へネジ止めしてください。



- 2 スタンドに本体側面を差し込む

スタンドの凸部に本体側面のスタンド用取り付け穴を差し込みます。



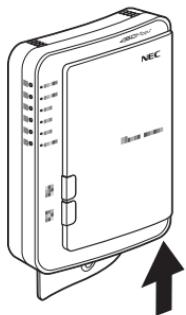
- 3 本商品を矢印の方向にスライドする

「カクッ」という感触があるまでスライドしてください。



! 本商品を外す場合は――

図のように、本商品を上面側へスライドさせて、取り外してください。



● お願い

- 壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、本商品の両端を持ち、上側に引き上げて取り外してください。
- 壁掛けの際、装置取り付け時は「カクッ」という感触があるまで確実に押し込んでください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やスイッチの操作などをおこなう際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながらおこなってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別途示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

【例】



- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。



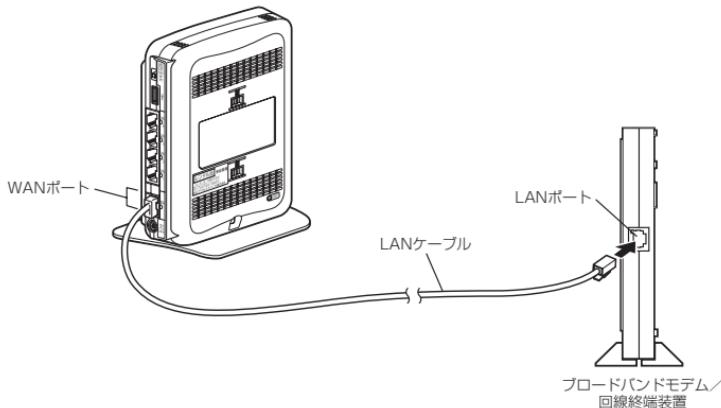
● お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）は1m以上離してお使いください。
- 近接するアクセスポイントと異なるチャネルに設定してご利用ください。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

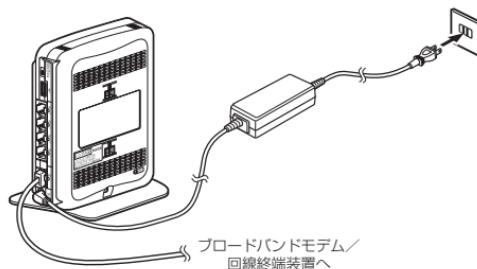
2-2 接続する

ブロードバンドモデム／回線終端装置と接続する

- 1 ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を切る
- 2 WR9500N (KP) のWANポートと、ブロードバンドモデム／回線終端装置のLANポートをLANケーブルで接続する

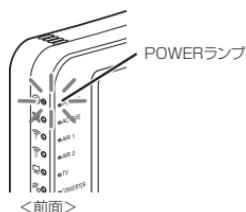


- 3 ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れる
- 4 ACアダプタのプラグをWR9500N (KP) に取り付ける
※ACアダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは他の製品に使用しないでください。
- 5 ACアダプタを電源コンセントに接続する



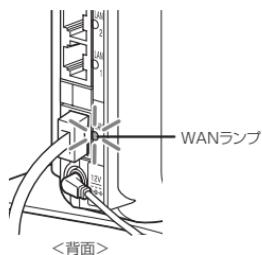
6

WR9500N (KP) のPOWERランプが緑点灯する



7

手順2で接続したWR9500N (KP) のWANポートのWANランプが緑点灯する

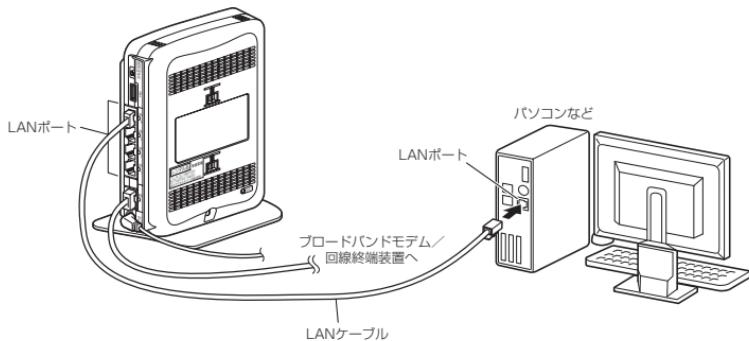


パソコンなどと接続する

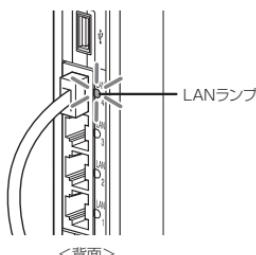
WR9500N (KP) に有線でパソコンなどを接続する場合は、以下の手順で接続します。

※WR9500N (KP) に無線でパソコンなどを接続する場合は、「4 無線LAN端末（子機）を接続する」(☞P4-1) を参照してください。

- 1 WR9500N (KP) の電源をいったん切る
ACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 2 パソコンの電源を切る
- 3 WR9500N (KP) のLANポートと、パソコンなどのLANポートをLANケーブルで接続する



- 4 WR9500N (KP) の電源を入れる
ACアダプタを電源コンセントに接続してください。
- 5 パソコンの電源を入れる
- 6 手順3で接続したWR9500N (KP) のLANポートのLANランプが緑点灯する



3

設定する

3

3-1	クイック設定Webで設定をおこなうには	3-2
3-2	無線のセキュリティ対策をする	3-5
3-3	USBポートのご利用について	3-15
3-4	ECOモードにする	3-30
3-5	クイック設定Webの設定画面について	3-34

WR9500N (KP) の設定はクイック設定Webでおこないます。

クイック設定Webで設定をおこなうには、あらかじめWR9500N (KP) とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線LAN端末（子機）から設定をおこなう場合は、「4 無線LAN端末（子機）を接続する」(☞P4-1) を参照してWR9500N (KP) との無線設定が完了してから設定してください。

設定画面の詳細については、「クイック設定Webの設定画面について」(☞P3-34) を参照してください。



お知らせ

- クイック設定Webが利用できるWWWブラウザについては、「設定できるWWWブラウザ」(☞P1-7) を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
- クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。



お願い

- クイック設定Webが表示されない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。(☞P5-3)
- クイック設定Webで設定を変更した場合は、画面右下の「設定」をクリックすると有効になります。
装置に設定値を保存する場合は、画面左上の「保存」を必ずクリックしてください。
「保存」をクリックしないで電源を落とした場合には、設定値が失われますのでご注意ください。

クイック設定Webの起動のしかた

クイック設定Webで設定をおこなう場合は、次の手順で起動します。

※事前に、WR9500N (KP) とパソコンの電源が入っていることと、WR9500N (KP) とパソコンが有線または無線で接続されていることを確認してください。

①WR9500N (KP) が接続しているネットワーク体系を確認して (●P5-12) 控えておく

控え欄

②WWWブラウザを起動する

③アドレス欄にWR9500N (KP) のIPアドレスを入力後、[Enter] キーを押してクイック設定Webを開く

※本商品のIPアドレスは、①で確認したアドレスの末尾を「211」にしたアドレスです。

例：①で確認したアドレスが「192.168.0.3」の場合

→「<http://192.168.0.211/>」と入力する

※IPアドレスの競合などにより、本商品のIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。

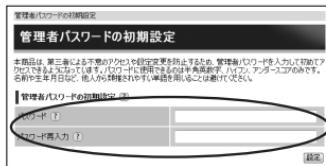
例：本商品のIPアドレスを「192.168.0.100」に設定している場合

→「<http://192.168.0.100/>」と入力する

④次の画面が表示された場合は、管理者パスワードの初期設定をおこなう

※画面にしたがって任意の文字列を入力してください。

※この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。



●管理者パスワードは、WR9500N (KP) を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄

⑤ ユーザー名とパスワードを入力する

※「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には④で控えた管理者パスワードを入力してください。



(画面はWindows® 7の場合の例です。)

⑥ [OK] をクリックする

⑦ クイック設定Web画面が表示される



お知らせ

- ACTIVEランプが橙点滅している場合は、WR9500N (KP) のIPアドレスが他の機器と競合しています。
「トラブルシューティング」の「ACTIVEランプが橙点滅している」(☞P5-4) を参照して本商品のIPアドレスを変更してください。

ポップアップヘルプについて

クイック設定Webを開くと、各項目に[?]のポップアップヘルプがあります。
このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件(文字数など)が表示されます。



3-2 無線のセキュリティ対策をする

WR9500N (KP) は、他の無線LANパソコンからWR9500N (KP) や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-IDステルス機能、無線暗号化機能、MACアドレスセキュリティ機能、ネットワーク分離機能を搭載しています。無線LAN端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線LAN端末（子機）についてセキュリティの設定をおこなう必要があります。

必要に応じてセキュリティの設定をおこなってください。



② セキュリティ対策をおこなうことの重要性について

無線LAN端末（子機）による無線通信をおこなう場合は、無線LAN内のセキュリティ対策をおこなうことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティ対策をおこなわない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。

無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてプロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などおこなわれる危険性があります。

! マルチSSIDについて

本商品には2つのネットワーク「プライマリSSID」「セカンダリSSID」があり、それぞれ2.4GHzモード・5GHzモードごとにネットワーク名（SSID）があります。

●プライマリSSID

初期値：「aterm-xxxxxx-g」（2.4GHzモードの場合）

「aterm-xxxxxx-a」（5GHzモードの場合）

→本商品側面のラベル「ネットワーク名（SSID）」の上段に記載されています。

暗号化方式としてTKIP/AESが利用可能。（初期値はAES）

AESが設定されている場合、IEEE802.11nによる高速通信が利用可能。

●セカンダリSSID

初期値：「aterm-xxxxxx-gw」（2.4GHzモードの場合）

「aterm-xxxxxx-aw」（5GHzモードの場合）

→本商品側面のラベル「ネットワーク名（SSID）」の下段に、2.4GHzモードの場合のみ記載されています。（5GHzモードの場合は、末尾を「aw」にしたものになります。）

暗号化方式としてWEP/TKIP/AESが利用可能。（初期値は128bitWEP）

AESが設定されている場合、IEEE802.11nによる高速通信が利用可能。

※セカンダリSSIDは、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能（▶P3-13）が設定されているため、下記の制限があります。

- ・ クイック設定Webに接続できない。
- ・ 本商品に有線で接続された端末に接続できない。
- ・ 本商品に他のネットワーク名（SSID）で無線接続された端末に接続できない。制限を解除したい場合は、クイック設定Webの「無線LAN設定」 - 「無線LAN詳細設定（2.4GHz）」または「無線LAN詳細設定（5GHz）」の「対象ネットワークを選択」でセカンダリSSIDを選択し、「無線LANアクセスポイント（親機）設定」の「ネットワーク分離機能」で「[使用する]」のチェックを外してください。

「プライマリSSID」と「セカンダリSSID」は同時に動作しているため、AESを利用可能な無線LAN端末（子機）と、ニンテンドーDSなどWEPのみが利用可能な無線LAN端末（子機）が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線LAN端末（子機）の無線LAN規格に応じて、どのSSIDに接続するかは自動選択・設定されますので、通常、これらのSSIDの存在を意識していただく必要はありません。

無線暗号化機能

無線通信を暗号化することにより、第三者からの傍受や盗聴から守る機能です。暗号化方式や暗号化キーは、初期値から変更することができます。通信をおこなう際には、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の暗号化設定は合わせる必要があります。

＜暗号化方式について＞

●WEP (Wired Equivalent Privacy)

IEEE802.11で定められた暗号化方式。

●TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

Wi-Fi Allianceの新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。

パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEPよりさらに強固なガードを実現します。

●AES (Advanced Encryption Standard)

米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。

WEPやTKIPよりさらに強固な暗号化をおこなうことができます。

お願い

- 使用するネットワーク（SSID）の暗号化設定は、必ず無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）で同じ設定にしてください。
- 暗号化キーは無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク（SSID）ごとにそれぞれにつき1つだけ使用します。1つのネットワーク内の無線LAN端末（子機）は、すべて同じ暗号化キーを設定してください。
- 本商品を初期化した場合は、プライマリSSIDの場合はAES、セカンダリSSIDの場合はWEP（128bit）（キーインデックス：1番）に初期値が設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キーの内容（初期値）は、本体側面の設定ラベルを参照してください。
- 1つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1つです。混在はできません。また、それぞれの暗号化方式をご利用になるには、対応した無線LAN端末（子機）が必要です。

暗号化の設定 (WR9500N (KP))

WR9500N (KP) の暗号化の設定変更は、クリック設定Webでおこないます。

なお、工場出荷時の状態では、WR9500N (KP) の側面に記載されている内容で、すでに暗号化の設定がされています。

1 クリック設定Webを起動する (☞P3-3)

2 「無線LAN設定」 – 「無線LAN詳細設定 (2.4GHz)」または「無線LAN詳細設定 (5GHz)」を選択する

3 「対象ネットワークを選択」の▼で設定するネットワーク名 (SSID)を選択し、[選択] をクリックする

4 [暗号化] の項目で設定する

■暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合

① [暗号化モード] で使用する暗号化モードを選択する

※ IEEE802.11nでは、[WPA-PSK (TKIP)]、[WPA2-PSK (TKIP)] は使用できません。

② [WPA暗号化キー] を入力する

暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8~63桁の場合】

半角英数記号 (0~9、a~z、A~Z、下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	~
-	&	*	<	[]	_	_
#	'	+	/	=	\	^	~
\$	(.	:	>]		

※ 「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】

16進数 (0~9、a~f、A~F)

③ [暗号化キー更新間隔] で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、0 (更新なし)、1~1440分の間で設定できます。



■暗号化モードでWEPを使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
※IEEE802.11nでは、WEPはご利用になれません。
- ② 暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。
- ③ [指定方法] から暗号化キーの種類を【英数字】または【16進】のどちらかを選択する
※【英数字】 →半角英数字（0～9、a～z、A～Z）の組み合わせで暗号を作成します。
【16進】 →半角16進（0～9、a～f、A～F）の組み合わせで暗号を作成します。
※指定した暗号強度によりそれぞれの入力行数は異なります。
- ④ [使用する暗号化キー番号] を1番～4番で選択する
- ⑤ 指定した番号（1番～4番）に③で指定した方法で任意の暗号を入力する



5
6
7

【設定】をクリックする

【OK】をクリックする

【保存】をクリックする

3

設定する

ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定する

無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名（SSIDとも呼びます）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。

一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、この機能を設定すると、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

これにより、あらかじめWR9500N（KP）のネットワーク名（SSID）を知っている無線LAN端末（子機）以外からの接続を制限することができます。

※本商品独自の機能です。Aterm以外の無線LAN端末（子機）では、接続できない場合があります。

1 クイック設定Webを起動する（☞P3-3）

2 「無線LAN設定」 – 「無線LAN詳細設定（2.4GHz）」または「無線LAN詳細設定（5GHz）」を選択する

3 「対象ネットワークを選択」の▼で設定するネットワーク名（SSID）を選択し、[選択]をクリックする

4 [ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）]を[使用する]に☑する

5 [設定]をクリックする

6 [OK]をクリックする

7 [保存]をクリックする



MACアドレスフィルタリング機能

MACアドレスが登録された無線LAN端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MACアドレスが登録されていない無線LAN端末（子機）からLANやインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

1 クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

2 「無線LAN設定」 – [MACアドレスフィルタリング] を選択する

3 [追加] をクリックする

4 [接続を許可するMACアドレスエントリ追加] 欄で設定する

①指定方法を選択する

手動設定：MACアドレスに直接無線接続を許可する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力します。

選択設定：MACアドレス（アクセス履歴）から選択し設定をします。

②手動設定の場合は、登録する無線LAN端末

（子機）のMACアドレスを入力する

MACアドレスは2文字ずつコロンで区切って入力してください。

例) MACアドレスがxx-xx-xx-xx-xx-xxの場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xxと入力します。

無線LAN端末（子機）のMACアドレスは無線LAN端末（子機）に記載されています。

選択設定の場合は、「アクセス履歴」から設定する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを選択します。

5 [設定] をクリックする

続けて追加設定する場合は、「前のページへ戻る」 – [追加] をクリックして手順4にもどり、追加設定してください。



3

設定する

- 6 「無線LAN設定」 – 「無線LAN詳細設定 (2.4GHz)」または「無線LAN詳細設定 (5GHz)」を選択する
- 7 「対象ネットワークを選択」の▼で設定するネットワーク名 (SSID) を選択し、[選択] をクリックする
- 8 [MACアドレスフィルタリング機能] を [使用する] に する
- 9 [OK] をクリックする
- 10 [設定] をクリックする
※すべてのネットワーク名 (SSID) に対して、同様の設定をおこなってください。
- 11 [保存] をクリックする



!(WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEを使用している場合)

本商品でMACアドレスによる接続制限 (MACアドレスフィルタリング) をおこなう場合、WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEの無線クライアントモードによって次のように設定してください。

<WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEの無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合>

WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEに記載されている無線のMACアドレスを登録することで無線接続する他の無線LAN端末 (子機) を制限できます。

<WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEの無線クライアントモードがMACクロールモードの場合>

WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEに記載されている無線のMACアドレスとWR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEに接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスをすべて登録してください。

→WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEでは接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末のMACアドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時はMACアドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MACアドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEに接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。(WR9500N (KC) /WL300NE/WL54SEの電源を入れたときにMACアドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。)

なお、MACアドレスフィルタに登録済みの端末が最初にアクセスすると、MACアドレスフィルタに未登録の端末でも無線接続できてしまいます。



WL54TEを使用している場合

本商品でMACアドレスによる接続制限（MACアドレスフィルタリング）をおこなう場合、WL54TEのクローンモードによって次のように設定してください。

※WL54TEは、最新のファームウェアに更新してご利用ください。

<WL54TEのクローンモードが「WL54TE」の場合>

WL54TEに記載されている無線のMACアドレスを登録することで無線接続する他の無線LAN端末（子機）を制限できます。

<WL54TEのクローンモードが「PC」の場合>

WL54TEに記載されている無線のMACアドレスとWL54TEに接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスをすべて登録してください。

→WL54TEでは接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末のMACアドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時はMACアドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MACアドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WL54TEに接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。

（WL54TEの電源を入れたときにMACアドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）なお、MACアドレスフィルタに登録済みの端末が最初にアクセスすると、MACアドレスフィルタに未登録の端末でも無線接続できてしまいます。

3

設定する

ネットワーク分離機能

マルチSSID（☞P3-6）のそれぞれのネットワーク（プライマリSSID／セカンダリSSID）に接続した無線LAN端末（子機）や、有線で接続されたパソコンへのアクセスを制限し、WR9500N（KP）に接続した他のネットワークから分離することができます。なお、WAN側が分離されることはありません。

（初期値：プライマリSSIDは「使用しない」、セカンダリSSIDは「使用する」）

なお、「使用する」に設定したネットワークに接続した無線LAN端末（子機）では、以下の制限があります。

- ・ クイック設定Webに接続できない。
- ・ 本商品に有線で接続された端末に接続できない。
- ・ 本商品に他のネットワーク名（SSID）で無線接続された端末に接続できない。（セカンダリSSIDを「使用する」に設定した場合、セカンダリSSIDで接続した端末から、プライマリSSIDで接続した端末には接続できません。）

1 クイック設定Webを起動する（☞P3-3）

2 「無線LAN設定」 – 「無線LAN詳細設定（2.4GHz）」または「無線LAN詳細設定（5GHz）」を選択する

3 「対象ネットワークを選択」の▼で設定するネットワーク名（SSID）を選択し、[選択]をクリックする

(次ページに続く)

4

[ネットワーク分離機能] を [使用する] に する



(画面は一例です。)

5

[設定] をクリックする

6

[OK] をクリックする

7

[保存] をクリックする



お知らせ

●制限を解除したい場合は、クイック設定Webの「無線LAN設定」 - 「無線LAN詳細設定 (2.4GHz)」または「無線LAN詳細設定 (5GHz)」の「対象ネットワークを選択」でネットワークを選択し、「無線LANアクセスポイント（親機）設定」の「ネットワーク分離機能」で「[使用する]」のチェックを外してください。

3-3 USBポートのご利用について

WR9500N (KP) のUSBポートでは、接続したUSBデバイスのファイルを、WR9500N (KP) のLAN側に接続した複数のパソコン（5台まで）で共有したり、WAN側からWWWブラウザを使用して表示・操作することができます。また、USBカメラを接続して、WAN側からWWWブラウザで画像を表示することもできます。

USBデバイスを取り付けるとき

USBデバイスを取り付ける場合は、下記のことご注意ください。

- 必ず装置本体を押さえて取り付けてください。
- コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

3

設定する



お知らせ

- USBポートで使用できるUSBデバイスは、下記のみとなります。（2012年1月現在）
 - マスストレージクラスのUSBデバイス（フォーマット形式は「FAT32/FAT16」のみ。）
 - UVC (USBVideoClass) 規格のバージョン1.0aまたは1.1に対応したUSBカメラ
- マスストレージクラスのUSBデバイスの場合、1つのファイルの最大容量は、フォーマット形式「FAT32」では4GBまでとなります。

お願い

- 規格外のUSBデバイスを接続した場合、装置破損の恐れがありますので、ご注意ください。なお、動作確認済みのUSBデバイス情報は、別紙に記載のホームページでご確認ください。（動作確認済みのUSBデバイス以外は、サポート対象外となります。また、USBハブはご利用できませんのでご注意ください。）

- USBポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流（500mA以上）となった場合、自動的に給電を遮断します。
復旧させるには、過電流保護状態のUSBポートからUSBデバイスを取り外したあと、本商品に接続したパソコンからクリック設定Webで状態を復帰させます。

- ECOモードの設定パターンを「設定1」（初期値）または「設定2」に設定した場合は（☞P3-30）、以下のことにご注意ください。
 - ECOモード起動中は、USBポートは停止されます。
 - USBポートをご利用中にECOモードを起動しないようにしてください。（進行中のファイル操作が失敗します。）

また、ECOモードの起動時刻を設定してある場合（☞P3-32）、起動時刻になると、自動的にUSBポートは停止されます。

- USBポートに接続したUSBデバイス内のファイルへアクセス中に、USBデバイスやパソコンを本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。

アクセス方法

パソコンからUSBデバイス内のファイルへは、次の手順でアクセスします。

ここではWindows® 7の場合を主な例に説明します。

※WWWブラウザでアクセスしたい場合は、「USBファイルHTTP公開機能（ブラウザファイル共有機能）」（☞P3-21）を参照してください。

1 [スタート]（Windows®のロゴボタン）－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[ファイル名を指定して実行]をクリックする

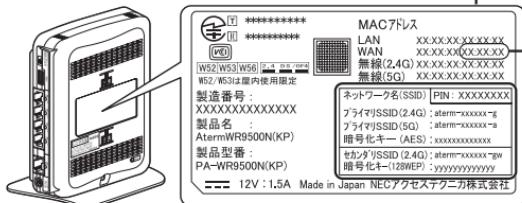
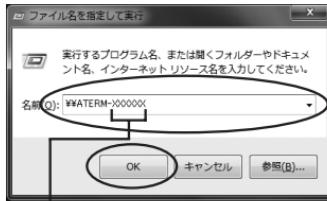
2 [名前]の欄に、「¥¥ATERM-」とWR9500N (KP) のWAN側MACアドレス下6桁（「：」除く）を入力し、[OK]をクリックする

入力例：

本商品のWAN側MACアドレスが「00：12：34：56：78：90」の場合

¥¥ATERM-567890

※本商品のWAN側MACアドレスは、本商品側面のラベルに記載しています。



WAN側MACアドレスの下6桁（「：」は除いてください。）

WR9500N (KP)

※「ATERM-XXXXXX」（XXXXXXは本商品のWAN側MACアドレス下6桁）は、コンピュータ名になります。コンピュータ名は、クリック設定Webの[詳細設定]－[USBストレージ設定]で変更可能です。

※ユーザー名とパスワードによるアクセス制限をかけている場合は（☞P3-17）、設定したユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。（☞P3-18の①参照）

3

USBデバイス名が表示されるので、ダブルクリックする



4

USBデバイス内のファイルが表示される

3

設定する

アクセス権限を設定する

WR9500N (KP) のLAN側に接続したパソコンからUSBデバイス内のファイルへアクセスする際、ユーザー名・パスワード入力によるアクセス制限をかけたり、読み取り専用に設定するなどのアクセス権限を設定することができます。

設定はクイック設定Webでおこないます。

1

クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

2

「詳細設定」 - 「[USBストレージ設定]」を選択する

3

【ファイル共有機能設定（ネットワークコンピュータ用）】の【ユーザー認証】で【使用する】にチェックを入れる



4

【ユーザー名】でユーザー名を入力する

※20文字以内の任意の半角英数字を入力します。

ユーザー名メモ欄 (ユーザー名はこちらに控えておいてください。)	
-------------------------------------	--

5

【パスワード】でパスワードを入力する

※64文字以内の任意の半角英数字を入力します。

ユーザー名メモ欄 (パスワードはこちらに控えておいてください。)	
-------------------------------------	--

6

[アクセス権限] で、権限を選択する

※読み取り専用に設定する場合は [READ ONLY (読み取り専用)]、読み取り・書き込みどちらもおこなえるように設定する場合は [FULL ACCESS (読み書き可能)] を選択します。

7

[設定] をクリックする

8

[保存] をクリックする

9

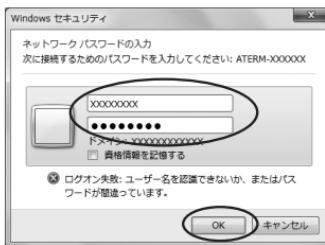
クイック設定Webを閉じる



上記手順でアクセス権限を設定したあと、USBデバイス内のファイルにアクセスした場合は、右の画面が表示されます。

「ユーザー名」・「パスワード」にP3-17の手順4、5で設定した値を入力して、[OK]をクリックします。

※ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合は、上記の手順で設定し直してください。

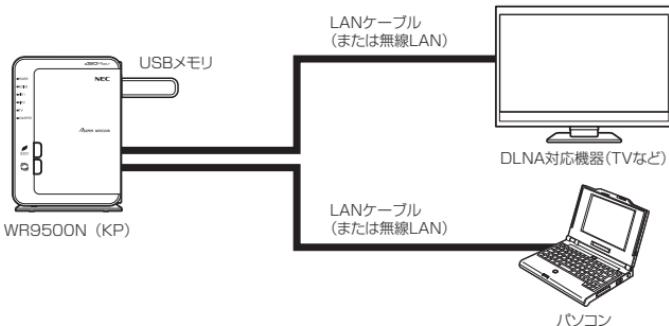


(画面はWindows® 7の場合の例です。)

メディアサーバ機能を利用してコンテンツを視聴する

WR9500N (KP) のUSBポートに接続したUSBメモリや外付けハードディスクに保存されたコンテンツを、WR9500N (KP) のLAN側に接続したDLNA対応機器で視聴することができます。

【利用例】



設定方法

- 1 WR9500N (KP) のUSBポートにUSBメモリや外付けハードディスクを接続する
- 2 WR9500N (KP) のLAN側に接続したパソコンから、WR9500N (KP) のUSBポートにアクセスする (☞P3-16)
- 3 メディアサーバ用のフォルダ「contents」に、視聴したいコンテンツを保存する
メディアサーバ用のフォルダ「contents」は、USBメモリや外付けハードディスク内に自動生成されています。
- 4 WR9500N (KP) のLAN側に接続したDLNA対応機器でコンテンツを視聴する
コンテンツの視聴方法は、DLNA対応機器の取扱説明書などを参照してください。



お願い



- 保存できるコンテンツの数は、1,000件までとなります。
それ以上は保存できませんのでご注意ください。
- メディアサーバ機能使用中でも、ファームウェアの自動バージョンアップ機能により本商品が再起動する場合があります。
- コンテンツ視聴中にUSBメモリや外付けハードディスク内のファイルサーバへファイルなどのアップロードを同時にした場合、視聴映像が乱れる場合があります。



お知らせ



- 本商品のメディアサーバ機能が「使用しない」に設定されていると、DLNA対応機器でコンテンツを視聴することができません。(工場出荷時の状態では「使用する」に設定されています。) クイック設定Webの「基本設定」 - 「基本設定」 - 「[メディアサーバ設定]」で、「メディアサーバ機能」を「使用する」に設定してください。

USBファイルHTTP公開機能（ブラウザファイル共有機能）

WR9500N (KP) に接続したUSBデバイス内のファイルをWWWブラウザで表示・操作することができます。設定はクイック設定Webでおこないます。

設定方法

1 クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

2 「詳細設定」 - 「[USBストレージ設定]」を選択する

3 [ファイル共有機能設定（ブラウザ用）] の [ブラウザファイル共有機能] で [使用する] にチェックを入れる



4 [アカウント] でアカウント種別を選択する

※セキュリティを高めたい場合は、「専用アカウント」を選択し、「ユーザー名」「パスワード」を設定してください。
(64文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) が入力できます。)



5 [アクセスポート番号] でポート番号を設定する

※初期値は「15789」です。

6 [設定] をクリックする

7 [保存] をクリックする

8 クイック設定Webを閉じる

3
設定する

アクセス方法

「ブラウザファイル共有機能」を設定後 (☞P3-21)、WR9500N (KP) に接続したUSBデバイス内のファイルをWWWブラウザで表示・操作する場合は、次の手順でアクセスします。

〈WAN側からアクセスする場合〉

パソコンなどを起動する

1

WWWブラウザのアドレス欄に、WR9500N (KP) のWAN側IPアドレスとアクセスポート番号 (初期値は「15789」) を「:」(コロン) で区切って入力し、[Enter] キーを押す

例: <http://XXX.XXX.XXX.XXX:15789>

 | |
 WAN側IPアドレス アクセスポート番号

 | |
 WAN側IPアドレス アクセスポート番号

●本商品のWAN側IPアドレスは、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」で確認することができます。

●本商品のWAN側に接続したブロードバンドルータなど (UPnP機能: 有効) のWAN側IPアドレスを使用します。IPアドレスは、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」にある「インターネット経由のアクセス」の「USBストレージ画面」に記載のアドレスになります。

●アクセスポート番号は、P3-21の手順5で設定した番号です。(初期値: 15789) 「15789」(初期値) から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

●「ユーザー名」と「パスワード」は、P3-21の手順4で設定した内容によって異なります。

→P3-21の手順4で「アカウント」を初期値のまま「クイック設定Web用管理者 (admin) と共にアカウント」に設定した場合は、クイック設定Webを起動する際のユーザー名とパスワードを入力してください。(☞P3-3)

→P3-21の手順4で「アカウント」を「専用アカウント」にしてユーザー名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。(☞P3-21)

4

「USBストレージ」画面が表示されるので、「ファイル／フォルダ一覧」からファイルをクリックしてアクセスする

<LAN側からアクセスする場合>

パソコンなどを起動する

1

2

WWWブラウザのアドレス欄に、「192.168.0.211」とアクセスポート番号（初期値は「15789」）を「:」（コロン）で区切って入力し、**[Enter] キーを押す**

例：http://192.168.0.211:15789



アクセスポート番号

●アクセスポート番号は、P3-21の手順5で設定した番号で、初期値は「15789」です。「15789」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

●「ユーザー名」と「パスワード」は、P3-21の手順4で設定した内容によって異なります。

→P3-21の手順4で「アカウント」を初期値のまま「クイック設定Web用管理者（admin）と共にアカウント」に設定した場合は、クイック設定Webを起動する際のユーザー名とパスワードを入力してください。（☞P3-3）

→P3-21の手順4で「アカウント」を「専用アカウント」にしてユーザー名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。（☞P3-21）

4

「USBストレージ」画面が表示されるので、「ファイル／フォルダ一覧」からファイルをクリックしてアクセスする

3

設定する

WWWブラウザで表示されたファイルの操作について

ここではWindows® 7でInternet Explorer 9.0の場合を例に説明します。

ファイル単位での操作になります。

<ファイルのアップロード>

1 「アップロードファイル」の【参照】をクリックする

2 アップロードするファイルを指定し、【開く】をクリックする

3 【追加】をクリックする

アップロードが完了したファイルは「ファイル／フォルダ一覧」に表示されます。

● お願い

●アップロードするファイル容量が大きい場合、ファイルのアップロードが完了するまで時間がかかる場合があります。複数のファイルをアップロードする場合には、1つめのファイルのアップロードが完了するまで、次のファイルのアップロードはおこなわないでください。正常にアップロードできない場合があります。

<ファイルのダウンロード>

1 「ファイル／フォルダ一覧」に表示されているファイル名をクリックする

2 【保存】の右側にある□をクリックして、【名前をつけて保存】を選択する



3 保存場所を指定して【保存】をクリックする

<ファイルの削除>

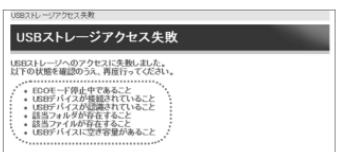
1 「ファイル／フォルダ一覧」で削除するファイル名の【削除】をクリックする

2 【OK】をクリックする

ファイルの削除が完了し、「ファイル／フォルダ一覧」からも表示が消去されます。

!

USBデバイスにアクセス開始時、または操作中に右の画面が表示された場合、USBデバイスへのアクセスに失敗しています。画面の内容を確認のうえ、再度操作をしてください。



3

設定する



お知らせ

- ご利用時の環境によって、ダウンロード／アップロード時にファイル名が変更される場合があります。

USBカメラ機能

WR9500N (KP) のUSBポートに接続したUSBカメラの画像をWWWブラウザで表示することができます。設定はクイック設定Webでおこないます。

設定方法

1 クイック設定Webを起動する (●P3-3)

2 「詳細設定」 - 「[USBカメラ設定]」を選択する

3 [USBカメラ機能] の [使用する] にチェックを入れる



4 [アカウント] でアカウント種別を選択する

※セキュリティを高めたい場合は、「専用アカウント」を選択し、「ユーザー名」「パスワード」を設定してください。
(64文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) が入力できます。)



5 [アクセスポート番号] でポート番号を設定する

※初期値は「15790」です。

6 [設定] をクリックする

7 [保存] をクリックする

8 クイック設定Webを閉じる

アクセス方法

「USBカメラ機能」を設定後（☞P3-26）、WR9500N（KP）に接続したUSBカメラの画像をWWWブラウザで表示する場合は、次の手順でアクセスします。

＜WAN側からアクセスする場合＞

パソコンなどを起動する

1

2

WWWブラウザのアドレス欄に、WR9500N（KP）のWAN側IPアドレスとアクセスポート番号（初期値は「15790」）を「:」（コロン）で区切って入力し、[Enter] キーを押す

例：http://XXX.XXX.XXX.XXX:15790

↓ ↓ ↓

WAN側IPアドレス アクセスポート番号

3

設定する

- 本商品のWAN側IPアドレスは、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」で確認することができます。
- 本商品のWAN側に接続したブロードバンドルータなど（UPnP機能：有効）のWAN側IPアドレスを使用します。IPアドレスは、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」にある【インターネット経由のアクセス】の【USBカメラ画面】に記載のアドレスになります。
- アクセスポート番号は、P3-26の手順5で設定した番号です。（初期値：15790）「15790」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、P3-26の手順4で設定した内容によって異なります。

→P3-26の手順4で【アカウント】を初期値のまま【クイック設定Web用管理者（admin）と共にアカウント】に設定した場合は、クイック設定Webを起動する際のユーザー名とパスワードを入力してください。（☞P3-3）

→P3-26の手順4で【アカウント】を【専用アカウント】にしてユーザー名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。（☞P3-26）

4

「USBカメラ」画面で、【表示開始】をクリックして表示する

<LAN側からアクセスする場合>

パソコンなどを起動する

1

WWWブラウザのアドレス欄に、「192.168.0.211」とアクセスポート番号（初期値は「15790」）を「:」（コロン）で区切って入力し、**[Enter] キーを押す**

例：http://192.168.0.211:15790



アクセスポート番号

●アクセスポート番号は、P3-26の手順5で設定した番号で、初期値は「15790」です。「15790」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

●「ユーザー名」と「パスワード」は、P3-26の手順4で設定した内容によって異なります。

→P3-26の手順4で「アカウント」を初期値のまま「クリック設定Web用管理者(admin)と共通アカウント」に設定した場合は、クリック設定Webを起動する際のユーザー名とパスワードを入力してください。(☞P3-3)

→P3-26の手順4で「アカウント」を「専用アカウント」にしてユーザー名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。(☞P3-26)

4

「USBカメラ」画面で、[表示開始] をクリックして表示する

USBデバイスを取り外すとき

USBデバイスを取り外す場合は、必ず下記の手順でUSBデバイスの停止をおこなってから取り外してください。

USBデバイスの停止はクイック設定Webでおこないます。

1 クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

2 「情報」 – [USBデバイス情報] を選択する

3 [最新状態に更新] をクリックする

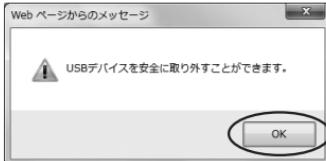
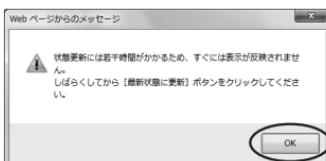
4 停止したいUSBデバイスの [停止／復帰] で、[停止] をクリックする

5 [OK] をクリックする

6 [OK] をクリックする

7 USBデバイスを取り外す

※必ず装置本体を押さえて取り外してください。



3-4 ECOモードにする

ECOモードでは、一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。ECOモードを起動するには、WR9500N (KP) 側面のECOボタンを使用します。

ECOモードでの制限内容 (ECO設定パターン)

ECOモードには下記の設定パターンがあります。工場出荷時の状態では、「設定1」に設定されています。変更する場合は、クイック設定Webの「ECOモード設定」-[ECOモード設定]の「[ECO設定パターン]」で設定変更してください。

※変更の際、通信がいったん切断される場合があります。

なお、下記のいずれの場合も、ECOモード起動時はPOWERランプ以外の前面・背面のランプが消灯します。

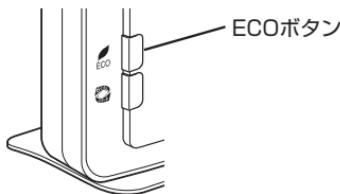
ECO設定パターン	説明	有線LAN	無線LAN	USBポート
設定1 (初期値)	LANポートの通信速度が100Mbpsで動作します。 (WANポートの通信速度は変わりません。) 無線LAN通信、USBポートは利用できません。	100Mbps	停止	停止
設定2	LANポートの通信速度が100Mbpsで動作します。 (WANポートの通信速度は変わりません。) 無線LAN通信は通信速度が最大72.2Mbpsになります。 USBポートは利用できません。	100Mbps	最大72.2Mbps (※)	停止
設定3	LANポートの通信速度が100Mbpsで動作します。 (WANポートの通信速度は変わりません。) 無線LAN通信は通信速度が最大72.2Mbpsになります。 USBポートがご利用になります。	100Mbps	最大72.2Mbps (※)	動作

(※) 無線機能が「使用する」に設定されている必要があります。

ECOモードを起動する

ECOモードを起動するには、WR9500N (KP) のECOボタンを5秒以上押します。

(停止する場合は、再度、ECOボタンを5秒以上押してください。通常モードに戻ります。)

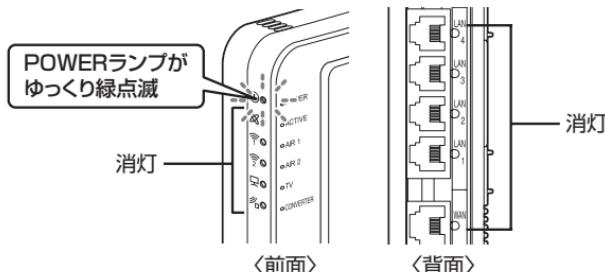


誤ってらくらくスタートボタンを押さないようご注意ください。

らくらくスタートボタンを押すと、らくらく無線スタートが起動してしまい、POWERランプが緑点滅したあと10秒間赤点灯します。その後POWERランプが緑点灯に戻りますので、ECOモードを正しく起動してください。

ECOモード起動中のランプ状態

ECOモードでは、POWERランプがゆっくり緑点滅し、他のランプはすべて消灯します。
(背面のWANランプ、LANランプも消灯します。)





お知らせ

- ECOモードを起動すると、LANポートの通信速度が変わるため、リンクが一時的に切断されます。通信中の場合はご注意ください。
- ECOボタンは、工場出荷時の状態で有効（ECOモードを起動できる状態）になっています。ECOボタンを無効にする場合は、クイック設定Webの「ECOモード設定」－「ECOモード設定」で【ECO機能】を【使用しない】に設定してください。
- あらかじめ起動／停止時刻を設定すれば、自動的にECOモードを起動／停止することができます。設定方法は下記のとおりです。
※設定する場合は、クイック設定Webの「メンテナンス」－【時刻設定】にある【自動時刻設定機能】を初期値のまま【自動設定】にして、インターネットに接続可能な環境でご利用ください。
- ① クイック設定Webを起動する（☞P3-3）
② 「ECOモード設定」－「ECOモード設定」を選択する
③ 【ECO機能】で【通常ECO】（初期値）を選択する
④ 【ECO設定パターン】を選択する（☞P3-30）
⑤ 【省電力型イーサネット（EEE）機能】を使用する場合は【使用する】にチェックを入れる
⑥ 【タイマ動作】の【使用する】にチェックを入れる
⑦ ECOモードの起動／停止時刻を設定する
（画面は、午前2時から午前5時までECOモードにする場合の例です）
- ⑧ 【設定】をクリックする
⑨ 【OK】をクリックする
⑩ 【OK】をクリックする
⑪ 【保存】をクリックする
- らくらく無線スタート設定時に誤ってECOボタンを押してしまうと、ECOモードが起動し、無線LAN通信が利用できなくなってしまう場合がありますのでご注意ください。（ECOモード起動中は、POWERランプのみゆっくり緑点滅し、他の前面・背面のランプは消灯します。）その場合は、再度ECOボタンを5秒以上押して、ECOモードを停止させてください。（本商品の電源をいったん切って入れ直しても通常モードに戻すことができます。）



オートECOモード機能

WR9500N (KP) では、ある特定の機能について、その使用状況に応じて自動的にECOモードを起動／解除することができます。

この機能を使用するには、クリック設定Webの「ECOモード設定」－「ECOモード設定」にある【ECO機能】で、「オートECO」を選択し、【設定】－【保存】をクリックしてください。

なお、2012年1月時点では、無線LAN接続の使用状況に応じた「無線オートECOモード」にのみ対応しています。

＜無線オートECOモード＞

無線LAN端末（子機）からの無線接続が一定時間（約240秒）以上ない場合、自動的に無線オートECOモードが起動し、無線回路の一部が停止されます。

※LANポートおよびWANポートの通信速度やUSBポートの動作、ランプ状態に変更はありません。

この機能は、起動中、無線LAN端末（子機）から無線接続された場合に、自動的に通常モードに戻ります。

なお、この機能は、2.4GHz帯、5GHz帯で独立して起動します。

このため、2.4GHz帯、5GHz帯どちらも起動中に2.4GHz帯の無線LAN端末（子機）が無線接続された場合、2.4GHz帯のみ通常モードに戻り、5GHz帯は無線オートECOモードのまま動作します。

オートECOモードの種類	説明	有線LAN	無線LAN	USBポート
無線オートECOモード（※）	無線回路の一部が停止されます。LANポートおよびWANポートの通信速度、USBポートの動作、ランプの状態に変更はありません。	通常どおり	無線回路の一部が停止	動作

（※）2.4GHz帯、5GHz帯で独立して起動します。

お知らせ

- 無線オートECOモード起動中に無線LAN端末（子機）から無線LAN接続する場合、無線回路の一部が停止しているため、無線LAN接続しにくい場合があります。その場合は、いつたん本商品に近い場所で無線LAN接続してください。

3-5 クイック設定Webの設定画面について

ここではクイック設定Webのそれぞれの設定画面について説明しています。

クイック設定Webの起動のしかたは、P3-3を参照してください。

※お使いのWWWブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。



設定の保存のしかた

それぞれのページで【設定】をクリックしたあと、【保存】をクリックすることにより設定内容を本商品に書き込みます。

【基本設定】 - 【基本設定】



<IPアドレス／ネットマスク>

IPアドレス自動補正機能：

本商品が接続しているネットワークアドレスを検出し、適切なIPアドレスを自動生成します。

本機能は/24 (255.255.255.0) のネットワークでIPアドレスの自動生成が可能です。

(初期値：使用する)

IPアドレス／ネットマスク（ビット指定）：

本商品のIPアドレスとネットマスクを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、他の機器のIPアドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。

ネットマスクはビット数形式で入力してください。入力できる値は、1～30です。たとえば、[255.255.255.0] 形式のネットマスクは「24」と入力します。

〈ご注意〉

- ・本項目の変更によって、通信条件が即時に変わり、通信が途切れる場合があります。このような場合は、接続する端末と本商品の設定をあわせて、再接続してください。

＜ゲートウェイ＞

本商品WAN側のゲートウェイアドレスの設定をします。

固定アドレス：

「IPアドレス自動補正機能」のチェックを外した場合に入力できます。

WAN側のゲートウェイアドレスを固定で設定する場合に入力します。「IPアドレス／ネットマスク（ビット指定）」の入力内容によって決まるネットワークアドレスの範囲内で設定します。

＜ネームサーバー＞

本商品のWAN側のDNSサーバに関する設定をします。

プライマリDNS：

「IPアドレス自動補正機能」のチェックを外した場合に入力できます。

本商品WAN側のDNSサーバを手動で設定する場合に入力します。

セカンダリDNS：

「IPアドレス自動補正機能」のチェックを外した場合に入力できます。

複数のDNSサーバがある場合は「プライマリDNS」とともに「セカンダリDNS」も入力します。

＜インターフェース設定＞

WAN側のインターフェースに関する設定をおこないます。

WAN側Ethernet設定：

WAN側のインターフェースの伝送速度、および、伝送モードを選択します。通常、「自動設定」で使用してください。（初期値：自動設定）

自動設定：

WAN側の伝送速度/伝送モードを自動で設定します。

100Mbps/全二重：

WAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

100Mbps/半二重：

WAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

10Mbps/全二重：

WAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

10Mbps/半二重：

WAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

LAN側ジャンボフレーム透過機能：

LAN側ジャンボフレーム透過機能を使用する場合は、チェックします。

LAN側に接続された端末間で、ジャンボフレームのデータ転送が可能になります。

（初期値：使用しない）

（次ページに続く）

LAN側Pause機能：

LAN側Pause機能を使用する場合は、チェックします。

LAN側に接続された端末間で、フロー制御することができます。

(初期値：使用する)

＜メディアサーバ設定＞

メディアサーバ機能：

本商品のUSBポートに接続したUSBメモリやHDDの画像などをDLNA対応機器で視聴することができます。

(初期値：使用する)

＜補助設定＞

メンテナンスバージョンアップ機能：

本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合、自動でバージョンアップする機能です。

本機能に必要な本商品の機器情報をNECアクセステクニカ株式会社のサーバに通知します。

(初期値：使用する)

＜ホームIPロケーション設定＞

ホームIPロケーション機能：

「メンテナンスバージョンアップ機能」にチェックした場合に設定できます。

(初期値：使用しない)

【無線LAN設定】 – 【無線LAN基本設定】



<無線LAN基本設定>

2.4GHz通信機能 :

「使用する」のチェックを外すと、本商品の2.4GHzの電波が停止され、2.4GHzの無線LANが無効となります。

(初期値：使用する)

5GHz通信機能 :

「使用する」のチェックを外すと、本商品の5GHzの電波が停止され、5GHzの無線LANが無効となります。

(初期値：使用する)

無線自動設定動作モード :

無線自動設定をおこなう動作モードを選択します。らくらく無線スタート、WPSをおこなう対象の無線LAN端末（子機）に合わせて設定してください。ただし、WPSの外部Registrarが無線接続の場合は、2.4GHz/5GHzが同時に動作するため、本項目による設定は不要です。（初期値：2.4GHz）

- ・ 2.4GHz
- ・ 5GHz

無線自動設定 :

無線自動設定の方法を選択します。（初期値：らくらく無線/WPS自動）

- ・ らくらく無線/WPS自動：らくらく無線スタートとWPS機能を自動的に切り替えて設定します。
- ・ らくらく無線：らくらく無線スタートで設定します。
- ・ WPS：WPS機能で設定します。

【無線LAN設定】 – [無線LAN詳細設定 (2.4GHz)] / [無線LAN詳細設定 (5GHz)]

無線LANの基本設定をおこないます。

本商品には2つのネットワーク「プライマリSSID」、「セカンダリSSID」があり、それぞれ2.4GHzモード、5GHzモードごとにネットワーク名(SSID)があります。それぞれのネットワークに対して、異なるセキュリティ設定(暗号化機能、ESS-IDステルス機能、MACアドレスフィルタリング機能)ができます。(マルチSSID)

「高度な設定を表示」をクリックすると、より高度な設定が可能になります。

以下は【無線LAN詳細設定 (2.4GHz)】で「高度な設定を表示」をクリックした場合のものです。



対象ネットワークを選択 :

設定をおこなうネットワーク名を選択してください。

<無線LANアクセスポイント（親機）設定>

本商品に関する設定をおこないます。

無線機能 :

セカンダリSSIDのネットワークに対してのみ設定することができます。

セカンダリSSIDのネットワークを使用しない場合は、チェックを外してください。

(初期値: 使用する)

〈ご注意〉

2.4GHz帯の場合セカンダリSSID機能を停止した状態で、802.11bのみ対応の無線LAN端末(子機)でらくらく無線スタートを実行した場合、子機側にセカンダリSSIDの無線情報が設定されますが、セカンダリSSIDが無効になっているため無線LANは使用できません。この場合、セカンダリSSIDを「使用する」に設定変更していただくか、らくらく無線スタートを使用せず、手動でプライマリSSIDの無線LAN設定をしてください。

ネットワーク名（SSID）：

<2.4GHz帯域の場合>

- ・プライマリSSID（初期値：本商品のラベルに記載。aterm-xxxxxx-g）
- ・セカンダリSSID（初期値：本商品のラベルに記載。aterm-xxxxxx-gw）

<5GHz帯域の場合>

- ・プライマリSSID（初期値：本商品のラベルに記載。aterm-xxxxxx-a）
 - ・セカンダリSSID（初期値：本商品のラベルに記載。aterm-xxxxxx-aw）
- 無線LANのネットワーク名（SSID）を入力します。半角の英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）を使用して32文字以内で入力してください。

オートチャネルセレクト機能：

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

使用する無線帯域（5GHz帯域の場合：5GHzの「サーチ対象帯域」でチェックした周波数帯域）の中で電波状態の良いチャネルを自動選択します。

（初期値：使用する）

デュアルチャネル機能：

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

20MHz幅の通信チャネルを2本束ねて利用し、40MHz幅での高速通信をおこないます。なお、デュアルチャネルに対応していない無線LAN端末（子機）との通信は20MHz幅の通信となります。

（初期値：使用する）

〈ご注意〉

ご利用環境によっては、40MHz/20MHzモードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、20MHzで接続される場合があります。

サーチ対象帯域：（使用帯域：5GHzの場合のみ）

「オートチャネルセレクト機能」を「使用する」に設定した場合、オートチャネルによりサーチする周波数帯域通信モードを選択します。

収容する無線LAN端末（子機）の周波数帯域に合わせて設定してください。

収容する無線LAN端末（子機）側で対応した周波数帯域以外を選択すると通信できなくなることがありますのでご注意ください。

下記の中から複数選択できます。

（初期値：5.2GHz（W52））

- ・5.2GHz（W52）
- ・5.3GHz（W53）
- ・5.6GHz（W56）

（次ページに続く）

使用チャネル：（使用帯域：2.4GHzの場合のみ）

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

「オートチャネルセレクト機能」の「使用する」のチェックを外した場合に設定できます。

無線LAN（2.4GHz）で使用するチャネルを選択します。

1～13チャネルの間で設定できます。

「デュアルチャネル機能」で「使用する」にチェックした場合には、選択可能チャネルは、デュアルチャネルで指定可能なチャネルに変更されます。

電波干渉がある場合には、使用する無線チャネル番号を変更してください。

複数のアクセスポイントを設置する場合には、チャネル番号を変更してください。

各アクセスポイントが異なるチャネル番号を使用することによって、無線のトラフィックの負荷を軽減できます。

使用チャネル（プライマリ）：（使用帯域：5GHzの場合のみ）

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

「オートチャネルセレクト機能」の「使用する」のチェックを外した場合に設定できます。無線LAN（5GHz）で使用するチャネルを選択します。

複数のアクセスポイントが設置されている環境など、電波干渉がある場合には、使用する無線チャネルを変更してください。また、「デュアルチャネル機能」で「使用する」にチェックした場合には、選択可能チャネルは、デュアルチャネルで指定可能なチャネルに変更されます。

使用チャネル（セカンダリ）：（使用帯域：5GHzの場合のみ）

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

「オートチャネルセレクト機能」の「使用する」のチェックを外した場合に設定できます。無線LANで使用するチャネル（セカンダリ）を選択します。

使用チャネル（プライマリ）にW53/W56のいずれかのチャネルを設定した場合に有効になります。

W53/W56チャネル利用時にレーダーを検出した場合の移動先チャネル（セカンダリ）を指定します。

選択可能チャネルは、「デュアルチャネル機能」、「使用チャネル（プライマリ）」の設定によって変わります。



お知らせ

- 通信中にレーダー波を検出した場合は、DFS機能により自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

ネットワーク分離機能：

マルチSSIDのそれぞれのネットワーク（プライマリSSID/セカンダリSSID）に接続した無線LAN端末（子機）や、有線で接続したパソコンへのアクセスを制限し、本商品に接続した他のネットワークから分離することができます。

（WAN側が分離されることはありません。）

（初期値：プライマリSSIDでは「使用しない」、セカンダリSSIDでは「使用する」）

TVモード：

本商品に無線接続したパソコンやテレビで、安定したストリーミング映像を視聴することができます。

「TVモード」を「使用する」に設定することにより、有効になります。

なお、無線LAN端末（子機）にWR9500N（KC）、WL300NEをご利用になられている場合は、自動で有効になるため、「使用する」に変更していただく必要はありません。

（初期値：使用しない）

<暗号化>

暗号化に関する設定をおこないます。

設定方法は、P3-8を参照してください。

暗号化モード：

暗号化モードを選択します。暗号化モードを設定すると無線LANでの送受信データが暗号化され、第三者に傍受されにくくなります。

（初期値：プライマリSSIDでは「WPA/WPA2-PSK (AES)」、セカンダリSSIDでは「WEP」）

プライマリSSID

- ・暗号化無効
- ・WPA/WPA2-PSK (TKIP)
- ・WPA/WPA2-PSK (AES)
- ・WPA2-PSK (TKIP)
- ・WPA2-PSK (AES)
- ・WPA-PSK (TKIP)
- ・WPA-PSK (AES)

セカンダリSSID

- ・暗号化無効
- ・WEP
- ・WPA/WPA2-PSK (TKIP)
- ・WPA/WPA2-PSK (AES)

※WPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES) が設定されている場合のみIEEE802.11nによる高速通信が可能です。

暗号強度：

WEPを利用する場合の暗号強度を選択します。

64bit < 128bit < 152bit の順で解読されにくになりますが、本商品と通信する無線LAN端末も同じ暗号強度に対応している必要があります。暗号化キー1～4番は、すべて同じ暗号強度になります。

（初期値：暗号化モードがWEPの場合「128bit」）

※WEP (152bit) は、Windows® 7/Windows Vista® ではご利用になれません。

指定方法：

WEPを利用する場合の暗号化キーの指定方法を選択します。英数字（0～9、a～z、A～Zで構成される半角文字列）、または、16進（0～9、a～f、A～Fで構成される半角文字列）から選択してください。本商品と通信する無線LAN端末子機も同じ指定方法で設定する必要があります。暗号化キー1～4番は、すべて同じ指定方法になります。

（初期値：暗号化モードがWEPの場合「英数字（13桁）」）

使用する暗号化キー番号（キーインデックス）：

WEPを利用する場合に、1～4番のどの暗号化キーを使用するかを設定します。

（初期値：暗号化モードがWEPの場合「1番」）

暗号化キー（WEPキー）1～4番：

WEPを利用する場合の暗号化キーは、4種類登録できます。

【指定方法】で選んだ文字列を【暗号強度】で設定した桁数分、暗号化キー（WEPキー）として入力します。

文字の種類は、英数字を選択した場合は、0～9、a～z、A～Zで構成される半角文字、16進数を選択した場合は、0～9、a～f、A～Fで構成される半角文字を指定します。

WPA暗号化キー（PSK）：

暗号化モードとして「WPA/WPA2-PSK（TKIP）」または「WPA/WPA2-PSK（AES）」を利用する場合の暗号化キーを入力します。

※暗号化をおこなうときは、接続されている無線LAN端末（子機）に、本商品と同じ暗号化キーを設定してください。

※8～63桁の英数記号または64桁の16進数を入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は以下の通りです。

【8～63桁の場合】

半角英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

!	%)	-	:	@	^	
-	&	*	.	<	[-	{
#	'	+	/	=	\	、	-
\$	(.	:	>]	{	

※「¥」（パックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】

16進数（0～9、a～f、A～F）

（初期値：本商品のラベルに記載の暗号化キー13桁）

暗号化キー更新間隔（分）：

暗号化キーの更新間隔（分）を入力します。WPA-PSKでは、暗号化キーは一定期間ごとに自動的に更新されて、より安全な状態を保ちます。入力できる値は、0（更新なし）、1～1440分です。

（初期値：30（分））

＜無線LAN端末（子機）の接続制限＞

無線LAN端末（子機）からの接続を制限する設定をおこないます。

ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）：

無線LAN端末（子機）から本商品を検索したときに本商品のネットワーク名（SSID）が見えないようにする場合は、チェックをします。あらかじめ本商品のネットワーク名（SSID）を設定した無線LAN端末（子機）以外からの本商品への接続を制限できます。（●P3-10）

（初期値：使用しない）

MACアドレスフィルタリング機能：

本商品にMACアドレスを登録した無線LAN端末（子機）とのみ通信できるように制限する場合は、チェックをします。MACアドレスフィルタリング機能を使用する場合は、別途「無線LAN設定」－「MACアドレスフィルタリング」で無線LAN端末（子機）のMACアドレスを設定しておく必要があります。（●P3-11）

（初期値：使用しない）

＜ご注意＞

- ・ MACアドレスフィルタリング機能を有効にした状態でらくらく無線スタートやWPSを実行すると、エントリが追加されます。（WPS設定（PIN方式）で無線LAN端末（子機）の無線LAN設定を本商品に設定する場合を除く）

＜拡張設定＞

拡張設定をおこないます。

送信出力：

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

無線LANの送信出力を選択します。

送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できます。

（初期値：100%）

- ・ 100%
- ・ 50%
- ・ 25%
- ・ 12.5%

プロテクション機能（使用帯域：2.4GHzの場合のみ）：

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

無線LAN端末（子機）との通信にRTS/CTSフロー制御をおこなう場合に有効にします。接続する無線LAN端末（子機）が少ない場合や、周囲に他の無線LANアクセスポイント（親機）が存在しない場合には「使用しない」に設定してください。それ以外の場合、「使用する」を選択することにより、無線LAN通信速度が向上する場合があります。

（初期値：使用しない）

（次ページに続く）

無線優先制御機能：

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

WMM (Wi-Fi Multimedia) 方式に、原則として準拠した機能です。無線区間でのパケットごとのトラフィッククラスによる優先制御を行うことにより、音声や映像データの通信品質を向上させることができます。

(初期値：使用する)

〈ご注意〉

- ・無線優先制御機能を使用しない場合、IEEE802.11nは使用できません。

IPv6マルチキャスト：

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

IPv6マルチキャストパケットの取扱方法を設定します。

利用するには〔マルチキャスト伝送速度 (Mbps)〕の設定値を変更する必要があります。

(初期値：ストリーミングのみ転送しない)

- ・ストリーミングのみ転送しない

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを、無線LANでは利用しない場合に選択します。

- ・すべて転送する

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを、無線LANで利用する場合に選択します。

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを無線でご利用になりたい場合

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを無線でご利用になる場合には、マルチキャスト帯域拡張機能を使用して、マルチキャストの速度を変更してご利用ください。

例：6Mbpsのテレビサービスをご利用の場合は、8.4Mbps以上の設定をおこなってください。(設定は12Mbpsになります。)

- テレビサービスをご利用になる場合は、標準 (5GHz) (802.11a) でのご利用を推奨します。(ご利用環境によっては標準 (2.4GHz) で視聴できない場合があります)
- 無線LAN端末（子機）は、プライマリSSIDでご利用ください。その場合セカンダリSSIDのIPv6マルチキャストを「ストリーミングのみ転送しない」に設定してください。

マルチキャスト伝送速度 (Mbps) :

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

無線LANのマルチキャストを伝送する速度を指定します。マルチキャストストリーミングサービスを利用する場合には、伝送速度の値を変更する（上げる）必要があります。ご利用になるストリーミングサービスの伝送速度に合わせて本設定値も変更してください。

(2.4GHz) 1/2/5.5/6/9/11/12/18/24/36/48/54 (初期値：1)

(5GHz) 6/9/12/18/24/36/48/54 (初期値：6)

DTIM（回）：

プライマリSSID/セカンダリSSID共通の設定です。

無線LANのDTIM値を設定します。

Beaconに含めるDTIMの間隔を入力します。DTIM値の間隔はパワーセーブモードの無線LAN端末（子機）の動作に影響します。通常は、初期値のままで使用してください。入力できる値は、1～10回です。

（初期値：1）



お知らせ

●他社製IEEE802.11n対応無線LANカードとの接続は保証しておりません。

【無線LAN設定】 – [MACアドレスフィルタリング]

MACアドレスフィルタリングの設定をおこないます。

詳細については、P3-11を参照してください。

【無線LAN設定】 – [WPS設定]

本商品に「WPS設定」を使用して、無線LAN端末（子機）設定をします。

「無線LAN詳細設定（2.4GHz）」および「無線LAN詳細設定（5GHz）」 – 「無線LANアクセスポイント（親機）設定」 – 「無線機能」で「使用する」にチェックした場合に設定できます。

**<WPS設定>****PIN方式：**

PIN方式による無線LAN端末（子機）設定をおこなう場合にチェックします。

（初期値：使用する）

無線LAN端末のPINコード：

「PIN方式」で「使用する」にチェックした場合に設定できます。

本商品側から無線LAN端末（子機）を指定して本商品の無線LAN設定を無線LAN端末（子機）に設定する場合は、無線LAN端末（子機）のPINコードを入力します。

無線LANアクセスポイントのPINコード：

「PIN方式」で「使用する」にチェックした場合に設定できます。

無線LANアクセスポイントのPINコードを生成し、表示します。

【再生成】をクリックすると、無線LANアクセスポイントのPINコードを再生成します。

【初期値に戻す】をクリックすると、無線LANアクセスポイントのPINコードを工場出荷時の状態に戻します。

WPSの状態：

「PIN方式」で「使用する」にチェックした場合に設定できます。

無線LAN端末（子機）の無線LAN設定を本商品に設定することを許可する場合は、チェックを外して無効にします。

（初期値：Configured）

※チェックを外して無効にすると、本商品の無線LAN設定が変更になるため、設定済みの他の無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。



お知らせ

- 暗号化設定が152bitWEPではご利用になれません。
- 2.4GHz/5GHz対応の無線LAN内蔵パソコンでWindows® 7をご利用の場合は、2.4GHz、または5GHzのどちらか一方でのみWPSがおこなえます。
選択した帯域でWPSが実行できない場合はパソコンを再起動し、再度実行してください。
- 接続する無線LAN端末（子機）がない状態で「WPS設定」をおこなった場合、2分間で自動的にキャンセルされます。

【ECOモード設定】 – [ECOモード設定]

本商品のECOモードの設定をおこないます。

一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。

設定値を選択・入力したあとは、[設定] をクリックします。



<ECOモード状態>

ECOモード :

現在設定されているECOモードの状態を表示します。

<ECOモード設定>

ECO機能 :

ECO機能を使用する場合に設定します。

(初期値：通常ECO)

・通常ECO

ECOボタンやタイマ作動により「ECO設定パターン」で指定したECOモードに切り替えます。

・オートECO

接続する無線LAN端末（子機）などの使用状況に応じて、消費電力を抑えるモードに自動的に切り替えます。

・使用しない

ECO機能を使用しません。

ECO設定パターン :

ECOモードのパターンを設定できます。

(初期値:設定1 (無線LAN : 停止、有線LAN : 100Mbps、USB : 停止))

・設定1 (無線LAN : 停止、有線LAN : 100Mbps、USB:停止)

無線LAN通信が停止する

LANポートの通信速度が100Mbpsで動作する

(WANポートの通信速度は変わりません。)

USBポートが停止する

-
- ・設定2（無線LAN：最大72.2Mbps、有線LAN：100Mbps、USB:停止）
無線機能を「使用する」にした場合、無線LAN通信が最大72.2Mbpsで使用できる
LANポートの通信速度が100Mbpsで動作する
(WANポートの通信速度は変わりません。)
USBポートが停止する
 - ・設定3（無線LAN：最大72.2Mbps、有線LAN：100Mbps、USB：動作）
無線機能を「使用する」にした場合、無線LAN通信が最大72.2Mbpsで使用できる
LANポートの通信速度が100Mbpsで動作する
(WANポートの通信速度は変わりません。)
USBポートが利用できる

省電力型イーサネット（EEE）機能：

本商品のLAN側に接続した端末との間で、通信をおこなっていない場合に消費電力を
を低減することができます。

設定を変更すると即時に有効になり、通信が途切れる場合があります。

(初期値：使用しない)

※本機能をご利用になるには、接続する端末のLANアダプタなど、対向ネットワー
ク機器も省電力型イーサネット（EEE）に対応している必要があります。

タイマ動作：

あらかじめ起動／停止時刻を設定すれば、自動的にECOモードを切り替えることがで
きます。タイマ動作を使用する場合は、「使用する」にチェックしたあと、「ECOモー
ド起動時刻」と「ECOモード停止時刻」を入力します。

(初期値：使用しない)

※設定の際は、「メンテナンス」－「時刻設定」で「自動時刻設定機能」を「自動設
定」(初期値)にしてください。

ECOモード起動時刻：

ECOモード起動時刻を入力します。

入力できる値は00：00～23：59です。

「タイマ動作」の「使用する」にチェックすると入力することができます。

ECOモード停止時刻：

ECOモード停止時刻を入力します。

入力できる値は00：00～23：59です。

「タイマ動作」の「使用する」にチェックすると入力することができます。

お知らせ

- ECOモード起動中は、POWERランプのみゆっくり緑点滅し、他の前面・背面ランプ
は消灯します。(オートECO起動中は、LANおよびWANポートの通信速度やUSBポー
トの動作、ランプ状態に変更はありません。)

【詳細設定】 – 【端末名設定】

本商品のWoL (Wake on Lan) 機能を利用して、起動したいパソコンに端末名を設定します。

本商品では、【端末名エントリ】に10個の端末名を設定できます。

【追加】をクリックして端末名を設定してください。

【端末名設定エントリ一覧】



＜端末名エントリ＞

端末名設定の一覧を表示します。

MACアドレス :

端末名が設定されているパソコンのMACアドレスを表示します。

端末名 :

MACアドレスに対応した端末の名前を表示します。

削除 :

指定したエントリを削除します。

＜端末名設定 エントリ項目の削除方法＞

「端末名設定 エントリ」のエントリ一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の【削除】をクリックすることで削除できます。

[端末名エントリ追加]



<端末名エントリ追加>

特定の端末に設定する端末名エントリを追加します。

設定値を入力したあと、[設定] をクリックし、[保存] で確定してください。

MACアドレス：

端末名を設定するパソコンのMACアドレスを入力してください。

MACアドレスは [xx:xx:xx:xx:xx:xx] のようにコロンで区切る形式で入力してください。

端末名：

MACアドレスを入力した端末に対応する名前を入力してください。

入力できる文字数は最大半角32文字、全角16文字（特殊文字を除く）です。



お知らせ

- 重複したMACアドレスは設定できません。
- 端末のMACアドレスはイーサネットアダプタ（有線LANのアダプタ）のMACアドレスを登録してください。
- MACアドレスがわからない場合は、下記の方法で参照してください。

<Windows® 7/Windows Vista® の場合>

- (1) [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックします。
- (2) "ipconfig /all"を入力し、[Enter] を押します。
「イーサネットアダプター ローカルエリア接続」の「物理アドレス」に表示されます。

【詳細設定】 – [DDNS設定]

ダイナミックDNSの設定をします。

設定値を入力したあとは、「設定」をクリックします。



【DDNSアドレス自動更新設定】

ダイナミックDNS機能に関する設定をおこないます。

DDNSアドレス自動更新機能：

WAN側IPアドレスをダイナミックDNSサーバへ通知する場合は、チェックします。
WAN側のIPアドレスが変更になった際に、ダイナミックDNSサーバへIPアドレスの
変更を自動通知します。

(初期値: 使用しない)

利用サービス：

利用するサービスを選択します。

(初期値・お名前.com)

- ・お名前.com

GMOインターネット株式会社が提供する「お名前.com®」

- BIGLOBE

「BIGLOBE」が提供する「ダイナミックDNSサービス」

ユーザー名：

ダイナミックDNSサーバにログインするためのユーザー名を入力します。

ダイナミックDNSサービスで契約時のユーザー名を入力してください。

パスワード:

ダイナミックDNSサーバにログインするためのパスワードを入力します。

ダイナミックDNSサービスで契約時のパスワードを入力してください。

ドメイン名：

「利用サービス」で「お名前.com」を選択した場合に、ダイナミックDNSサーバに通知するドメイン名を入力します。

ホスト名：

「利用サービス」で「お名前.com」を選択した場合に、ダイナミックDNSサーバに通知するホスト名を入力します。

IPアドレスチェック間隔：

「利用サービス」で「お名前.com」を選択した場合に、ダイナミックDNSサーバに通知するIPアドレスをチェックする間隔を指定します。

指定した時間内は、グローバルIPアドレスが変更された場合にドメイン名による本商品へのアクセスができない場合があります。

(初期値：30分)

・5分/10分/30分/60分/3時間/6時間/12時間/24時間

【詳細設定】 - [USBストレージ設定]

ファイル共有機能を使ってパソコンからUSBデバイス内のファイルへアクセスする際、ユーザー名・パスワード入力によるアクセス制限をかけたり、読み取り専用に設定するなどのアクセス権限を設定することができます。

設定値を選択・入力したあとは、[設定] をクリックします。



<ファイル共有機能設定（ネットワークコンピュータ用）>

コンピュータ名：(初期値：ATERM-XXXXXX (XXXXXXは、本商品のラベルに記載されているWAN側MACアドレスの下6桁))

コンピュータ名を入力します。

通常はこのままご利用になれます。

パソコンからアクセスする本商品のコンピュータ名を変更する場合は入力してください。

15文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) が入力できます。

ワークグループ：

ワークグループを入力します。

通常はこのままご利用になれます。

ワークグループを変更する場合は入力してください。

15文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) が入力できます。

(初期値：WORKGROUP)

ユーザー認証：

USBデバイスのファイルにアクセス制限を設定する場合にチェックします。

(初期値：使用しない)

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

20文字以内で任意の半角英数字を入力します。

入力できる文字は、英数記号（0～9、a～z、A～Z、記号）です。

※ご利用の環境によっては、使用できない記号があります。

パスワード：

パスワードを入力します。

64文字以内で任意の半角英数字を入力します。

入力できる文字は、英数記号（0～9、a～z、A～Z、記号）です。

※ご利用の環境によっては、使用できない記号があります。

アクセス権限：

アクセス権限を選択します。読み取り専用で使用する場合は「READ ONLY（読み取り専用）」、読み書き可能で使用する場合は「FULL ACCESS（読み書き可能）」を選択してください。

（初期値：FULL ACCESS（読み書き可能））

〈ご注意〉

「USBストレージ設定」で「ユーザー名」と「パスワード」を設定したあと、USBデバイス内のファイルにアクセスした場合は、ユーザー名・パスワードの入力画面が表示されます。

【ファイル共有機能設定】で設定した値を入力して、[OK] をクリックしてください。

※ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合は、【ファイル共有機能設定】で再度設定してください。

<ファイル共有機能設定（ブラウザ用）>**ブラウザファイル共有機能：**

「使用する」にチェックをすると、WWWブラウザを利用して、本商品のUSBポートに接続したUSBデバイス内のファイルやフォルダにアクセスできるようになります。

（初期値：使用しない）

アカウント：

WWWブラウザからUSBファイルにアクセスする際の、アカウントの種類を選択します。

・ クイック設定Web用管理者（admin）と共にアカウント

　クイック設定Webのログインと同じアカウントで利用する場合に選択してください。

・ 専用アカウント

　専用のアカウントを利用する場合に選択してください。

ユーザー名：

専用アカウントで利用する場合は、ユーザー名を入力します。

使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、最大半角64文字まで有効です。

※他の機能で使用済みのユーザー名は設定できません。

パスワード：

専用アカウントで利用する場合のパスワードを入力します。

使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、最大半角64文字まで有効です。

アクセスポート番号：

ブラウザファイル共有機能で使用するポート番号を設定します。

入力できる値は1～65535です。

（初期値：15789）

※他のサービスで使用中または予約済みのポート番号は利用できません。

〈ご注意〉

認証用のアカウントは重要な個人情報です。取り扱いには十分ご注意ください。

【詳細設定】 – [USBカメラ設定]

USBカメラ機能の設定をします。



<USBカメラ設定>

USBカメラ機能：

本商品のUSBカメラ機能を使用する場合は、チェックします。

（初期値：使用しない）

アカウント：

アカウント種別を選択します。

セキュリティを高めたい場合は、「専用アカウント」を選択し、「ユーザー名」、「パスワード」を設定してください。

（初期値：クイック設定Web用管理者（admin）と共通アカウント）

・クイック設定Web用管理者（admin）と共通アカウント

・専用アカウント

ユーザー名：

アカウントで「専用アカウント」を選択した場合にユーザー名を設定します。

半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で64文字以内で入力します。

パスワード：

アカウントで「専用アカウント」を選択した場合にパスワードを設定します。

半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で64文字以内で入力します。

アクセスポート番号：

アクセスポート番号を設定します。入力できる値は1024～65535です。

（初期値：15790）

【詳細設定】 – [PCリモート起動設定]

PCリモート起動 (Wake on Lan) の設定をします。

外出先など離れた場所からでも、本商品に接続しているパソコンを起動することができます。

設定値を選択・入力したあとは、[設定] をクリックします。



<PCリモート起動設定>

PCリモート起動機能に関する設定をします。

PCリモート起動機能 :

本商品に接続されているパソコンをリモートで起動することができます。

(初期値：使用しない)

アカウント :

パソコンをリモートで起動させるための認証用アカウントの種類を選択します。

- ・ クイック設定Web用管理者 (admin) と共にアカウント
クイック設定Webのログインと同じアカウントで利用する場合に選択してください。
- ・ 専用アカウント
専用のアカウントを利用する場合に選択してください。

ユーザー名 :

専用アカウントで利用する場合は、ユーザー名を入力します。

使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角64文字まで有効です。

※他の機能で使用済みのユーザー名は設定できません。

パスワード :

専用アカウントで利用する場合のパスワードを入力します。

使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角64文字まで有効です。

アクセスポート番号 :

PCリモート起動機能で使用するポート番号を設定します。

入力できる値は1024～65535です。

(初期値：8080)

※他のサービスで使用中または予約済みのポート番号は利用できません。

【メンテナンス】 – [管理者パスワードの変更]

管理者パスワードを変更することができます。



1

クリック設定Webを起動する (☞P3-3)

2

【メンテナンス】 – [管理者パスワードの変更] を選択する

3

【現在のパスワード】に、現在設定されているパスワードを入力する

4

【新しいパスワード】に、新しく設定するパスワードを入力する

パスワードに使用できる文字は、0~9、a~z、A~Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) です。最大半角64文字まで設定できます。

5

【新しいパスワード再入力】に、手順2で入力したパスワードを再度入力する

6

【設定】をクリックする

7

【保存】をクリックする



お知らせ

- パスワードがわからなくなってしまった場合は、本商品を初期化してください。(☞P5-14)
なお、初期化するとすべての値が工場出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。

【メンテナンス】－【設定値の保存＆復元】



＜設定値の保存＞

ファイルへ保存：

本商品に設定した内容を保存することができます。

本商品を初期化する（▶P5-14）前に保存しておくと、初期化後、設定内容を復元できます。

※パソコンのOSやWWWブラウザによって操作方法が異なる場合があります。

【設定値の復元】

上記で保存した設定内容を復元します。

復元方法は下記の通りです。

- ①【参照】をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定する
- ②【開く】（または【選択】）をクリックする
- ③【設定値の復元】をクリックする
- ④【OK】をクリックする
- ⑤画面の指示にしたがって本商品を再起動する



お知らせ

- 管理者パスワードは、保存されません。
- 設定値を復元するときは、他の機種のバックアップファイルを指定しないでください。
正しく復元できません。

【メンテナンス】－【設定値の初期化】

本商品の設定値を初期化します。

詳細については、P5-14を参照してください。

【メンテナンス】 – [ファームウェア更新] 本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。



ファームウェアを更新する場合は、以下のいずれかの方法でおこなってください。

- ・「ローカルファイル指定」で更新する
- ・「自動更新（オンラインバージョンアップ）」で更新する
- ・時刻指定バージョンアップで更新する

「ローカルファイル指定」で更新する

1 最新のファームウェアをサポートページからダウンロードする
※ファームウェアをダウンロードした後、解凍してご利用ください。

2 「更新方法」で「ローカルファイル指定」を選択する

3 「ファームウェアファイル」欄にあるボタン（【参照】など）をクリックする

4 手順1でダウンロードしたファームウェアファイルを指定する

5 【更新】をクリックする

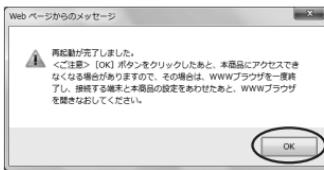
6 【OK】をクリックする

しばらくすると、画面に「ファームウェア更新中のため、絶対に本商品の電源をOFFにしないでください。」と表示されます。

バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。



7 [OK] をクリックする



「自動更新（オンラインバージョンアップ）」で更新する

1 「更新方法」で「自動更新（オンラインバージョンアップ）」を選択する

2 [更新] をクリックする

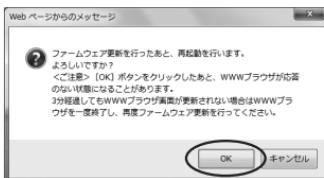
3 右の画面が表示されたら、[最新バージョンへ更新] をクリックする

※「最新のファームウェアバージョン」が、
「現在のファームウェアバージョン」よりも新しい場合には、更新してください。

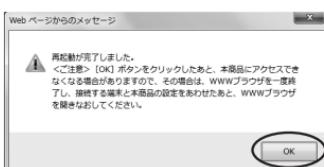


4 [OK] をクリックする

しばらくすると、画面に「ファームウェア更新中のため、絶対に本商品の電源をOFFにしないでください。」と表示されます。
バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。



5 [OK] をクリックする



時刻指定バージョンアップで更新する

- 1 「時刻指定バージョンアップ機能」で「使用する」にチェックする
- 2 「更新時刻」にバージョンアップする時刻を設定する
- 3 [設定] をクリックする
- 4 [保存] をクリックする

【メンテナンス】 – 【再起動】

本商品の再起動をおこないます。

本商品の再起動をおこなう場合は、[再起動] をクリックしてください。



- 現在の設定を保存してから再起動してください。

設定を変更した場合は、再起動をおこなう前に設定を保存しないと設定内容が失われます。

【情報】 – [現在の状態]



<装置情報>

本商品の装置情報を表示します。

装置名 :

本商品の装置名を表示します。

ファームウェアバージョン :

本商品で使用するファームウェアのバージョンを表示します。

MACアドレス :

本商品で使用するMACアドレスを表示します。

<無線情報 (aterm-XXXXXX-g) >

無線動作モード :

2.4GHz帯のプライマリSSIDで使用する動作モードを表示します。

使用チャネル :

2.4GHz帯のプライマリSSIDで使用するチャネルを表示します。

ネットワーク名 (SSID) :

2.4GHz帯のプライマリSSIDのネットワーク名 (SSID) を表示します。

MACアドレス (無線) :

無線のMACアドレスを表示します。

(次ページに続く)

ネットワーク分離機能 :

現在のネットワーク分離機能の使用状態を表示します。

<無線情報 (aterm-XXXXXX-gw) >

無線動作モード :

2.4GHz帯のセカンダリSSIDで使用する動作モードを表示します。

使用チャネル :

2.4GHz帯のセカンダリSSIDで使用するチャネルを表示します。

ネットワーク名 (SSID) :

2.4GHz帯のセカンダリSSIDのネットワーク名 (SSID) を表示します。

MACアドレス (無線) :

無線のMACアドレスを表示します。

ネットワーク分離機能 :

現在のネットワーク分離機能の使用状態を表示します。

<無線情報 (aterm-XXXXXX-a) >

無線動作モード :

5GHz帯のプライマリSSIDで使用する動作モードを表示します。

使用チャネル :

5GHz帯のプライマリSSIDで使用するチャネルを表示します。

ネットワーク名 (SSID) :

5GHz帯のプライマリSSIDのネットワーク名 (SSID) を表示します。

MACアドレス (無線) :

無線のMACアドレスを表示します。

ネットワーク分離機能 :

現在のネットワーク分離機能の使用状態を表示します。

<無線情報 (aterm-XXXXXX-aw) >

無線動作モード :

5GHz帯のセカンダリSSIDで使用する動作モードを表示します。

使用チャネル :

5GHz帯のセカンダリSSIDで使用するチャネルを表示します。

ネットワーク名 (SSID) :

5GHz帯のセカンダリSSIDのネットワーク名 (SSID) を表示します。

MACアドレス (無線) :

無線のMACアドレスを表示します。

ネットワーク分離機能 :

現在のネットワーク分離機能の使用状態を表示します。

＜状態表示＞

本商品の状態を表示します。

動作モード：

現在の動作モードを表示します。

IPアドレス／ネットマスク：

本商品が使用するLAN側のIPアドレス／ネットマスクを表示します。

ゲートウェイ：

本商品が使用するWAN側のゲートウェイを表示します。

プライマリDNS：

プライマリDNSを表示します。

セカンダリDNS：

セカンダリDNSを表示します。

＜インターネット経由のアクセス＞

本商品へのインターネット経由のアクセス情報を表示します。

USBストレージ画面：

インターネット経由でのUSBストレージ画面の表示可否状況を表示します。

アクセス可の場合、URL情報も表示します。

USBカメラ画面：

インターネット経由でのUSBカメラ画面表示可否状態を表示します。

DDNSをご利用の場合は、アドレス部をドメイン名に置き換えてアクセス可能です。

PCリモート起動実行画面：

インターネット経由でのPCリモート起動実行画面の表示可否状態を表示します。

アクセス可の場合、URL情報も表示します。

DDNS更新状態：

ダイナミックDNSサービスの更新状態やダイナミックDNSサーバに登録したドメイン名を表示します。

＜ホームIPロケーション＞

ホームIPロケーション名：

本商品のWAN側IPアドレスがグローバルIPアドレスの場合に、インターネット側から本商品にアクセスするためのホームIPロケーション名を表示します。

【最新状態に更新】

表示を最新状態にしたいときにクリックします。

【情報】 – [USBデバイス情報]



<USBデバイス情報>

本商品に接続されているUSBデバイス情報を表示します。

デバイス名 :

USBデバイス名を表示します。

ポート状態 :

USBデバイスのポート給電／異常発生（過電流保護作動中）などの状態を表示します。

フォーマット形式 :

USBデバイスのフォーマット形式（ファイルシステム）を表示します。

· FAT

本商品で利用可能なフォーマット形式です。

· 未サポート

本商品でサポートしていないフォーマット形式です。

· フォーマット中

フォーマット中です。

· –

未接続、または、USBカメラが接続されている場合に表示されます。



お知らせ

●本商品で利用可能なUSBデバイスのフォーマット形式は「FAT32/FAT16」のみです。他のフォーマット形式は認識できません。

停止／復帰 :

指定したUSBポートを停止／復帰します。

· 停止

USBデバイスが正常状態で接続されているときに表示されます。

USBデバイスを取り外すときには、クリックしてから取り外してください。

· 復帰

過電流保護状態になったときに表示されます。

USBデバイスを取り外したあとにクリックしてください。過電流保護が解除されます。

<USBデバイスフォーマット>

本商品に接続したUSBデバイスをフォーマットすることができます。

フォーマット形式：

フォーマット形式を選択します。

選択できるフォーマット形式は「FAT」のみです。

【USBデバイスをフォーマットする場合】

①[フォーマット] をクリックする

②画面のメッセージを確認し、[OK] をクリックする

「USBデバイス情報」の「フォーマット形式」に「フォーマット中」と表示されます。

③[最新状態に更新] をクリックする

「フォーマット形式」に「FAT」と表示されていれば、フォーマット完了です。

<ご注意>

フォーマットを実行すると、USBデバイス内のファイルはすべて削除され、復元することはできません。



お知らせ

●フォーマット完了後のUSBデバイスのフォーマット形式は「FAT32」です。

●「FAT32」では、1つのファイルの最大容量は4GBまでとなります。

●PSPのメディアをフォーマットする場合は、PSP本体でおこなってください。

【USBデバイスを取り外す場合】

USBデバイスを取り外す場合は、必ずUSBデバイスの停止をおこなってから取り外してください。詳細はP3-29を参照してください。

【過電流保護機能が動作した状態から復帰する場合】

本商品から給電される電流が過電流（500mA以上）となった場合、自動的に給電を遮断します。

過電流状態になると、過電流保護回路が働き、下記のような表示になりUSBデバイスが動作しなくなります。



下記の手順にしたがって復帰させてください。

①USBポートから、USBデバイスを抜く

②[復帰] をクリックする

③[OK] をクリックする

<ご注意>

USBデバイスを抜かずに[復帰] をクリックした場合、再度過電流保護機能が動作する可能性があります。USBポートからUSBデバイスを抜いて、[復帰] をクリックしてください。

【情報】 – [USBファイル共有情報]



<USBファイル共有情報>

本商品のUSBファイル共有情報やUSBポートに接続中の端末を表示します。

コンピュータ名 :

コンピュータ名を表示します。

ワークグループ :

ワークグループを表示します。

共有リソース :

USBポートを使用している共有リソース名を表示します。

<アクセス中の端末リスト>

本商品のUSBポートにアクセス中の端末（パソコンなど）のリストを表示します。

IPアドレス :

本商品のUSBポートにアクセス中の端末（パソコンなど）のIPアドレスを表示します。

ポート番号 :

本商品のUSBポートにアクセス中の端末（パソコンなど）のポート番号を表示します。

4

無線LAN端末（子機）を接続する

4

- 4-1 無線LAN端末（子機）からの通信を確立する 4-2

無線LAN端末（子機）から本商品に無線LAN接続するには、以下のような手順でおこないます。なお、（※1）～（※6）については、P4-4を参照してください。

Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合

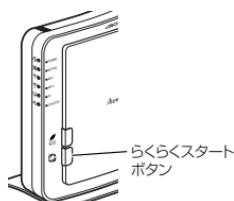
※Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）の場合は、P4-3へお進みください。

WR9500N (KC) /WL300NE-AG/WL300NE/WL300NC/WL300NC-G/
WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL130NC/WL54SC/
WL54SC2/WL54GC/WL54AG/WL54SU/WL54SU2/WL54GU/WL54TU/
WL54SE/WL54SE2/WL54TE

（※1）（※2）（※3）（※4）

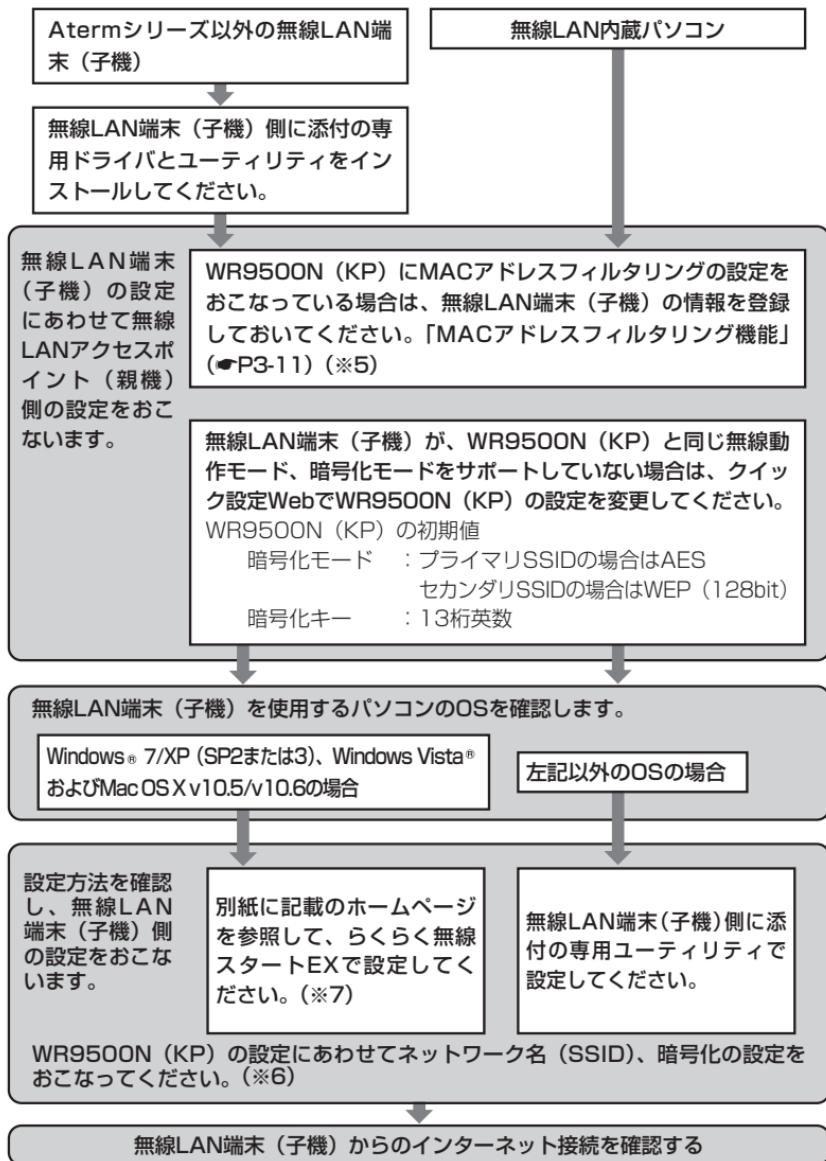
設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定をおこないます。

らくらく無線スタートで設定してください。
本商品のらくらくスタートボタンを押して設定します。
設定方法など詳細については、無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書を参照してください。



無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）



- ※1 WR9500N (KC) /WL300NU-AG/WL300NC/WL300NE-AG/WL300NEは、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11gおよびIEEE802.11bで本商品に接続できます。
- ※2 WL130NC/WL300NC-G/WL300NU-G/WL300NU-GSは、IEEE802.11nおよびIEEE802.11gおよびIEEE802.11bでのみ本商品に接続できます。
- ※3 WL54SU/WL54SU2/WL54SC/WL54SC2/WL54SE/WL54SE2は、IEEE802.11a、IEEE802.11gおよびIEEE802.11bでのみ本商品に接続できます。
- ※4 WL54GC/WL54AG/WL54GU/WL54TU/WL54TEは、IEEE802.11gおよびIEEE802.11bでのみ本商品に接続できます。
- ※5 すでにインターネット接続が可能な場合、MACアドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。
- ※6 本商品の工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は本商品側面のラベルに記載されています。
- ※7 Windows® 7/XPまたはWindows Vista®のワイヤレスネットワーク接続で設定することもできます。(●P4-5)

※本商品はIEEE802.11aモードにおいてW52帯、W53帯、W56帯に対応しています。従来のJ52帯を使用する無線LAN端末（子機）とは通信できません。以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

Atermシリーズ無線LAN端末（子機）のバージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に記載のホームページにてご確認ください。

		従来のIEEE802.11a (J52) 対応無線LAN端末（子機） WL54AG/WL54TU/WL54TE	WL54SC/WL54SU/WL54SE	WR9500N (KC) /WL300NE-AG/WL300NE/WL300NC/WL54SC2/WL54SU2/WL54SE2
		J52	W52/W53	W52/W53/W56
本商品 WR9500N (KP)	W52 W53 W56	×	○	○

○ : W52帯 (5150-5250MHz)、W53帯 (5250-5350MHz)、W56帯 (5470-5725MHz) を使用して、最大19チャネルから選択ができます。

○ : W52帯 (5150-5250MHz)、W53帯 (5250-5350MHz) を使用して、最大8チャネルから選択ができます。

× : 利用不可。



お知らせ

- 本商品に接続できる無線LAN端末（子機）は別紙に記載のホームページで確認してください。

無線LAN内蔵パソコンから接続する

無線LAN内蔵パソコンからWR9500N (KP) に無線接続する場合は、無線LAN内蔵パソコンの機種やOSによって設定方法は異なりますので、無線LAN内蔵パソコンの取扱説明書を参照して設定してください。

ここでは、下記の場合を例に説明しています。

- Windows® 7またはWindows Vista® のワイヤレスネットワーク接続で設定する場合

①設定する

Windows® 7の場合 (☞P4-6)

Windows Vista® の場合 (☞P4-13)

②WR9500N (KP) との通信状態を確認するには (☞P4-19)

※Windows® 7/XP (SP2/SP3)、Windows Vista® およびMac OS X v10.5/v10.6の場合は、らくらく無線スタートEXで設定することができます。

詳細は、別紙に記載のホームページを参照してください。

お願い

- 設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンやOSによって異なります。(Windows® 7/XPおよびWindows Vista® の場合でも専用のユーティリティを使用する場合があります。) 設定方法の詳細については、パソコンなどのメーカーにお問い合わせください。
- パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより本商品の無線動作モードを変更する必要があります。クイック設定Webで変更します。(☞P3-38)
- IEEE802.11a (J52のみ) 対応無線LAN内蔵パソコンでは使用する周波数帯／チャネルが異なるため、IEEE802.11aでの通信はご利用になれません。IEEE802.11g+b(+11n)での通信モード (2.4GHzモード) をご利用ください。
- 2005年5月以降のNEC製の個人向けパソコン (LaVie) では、あらかじめらくらく無線スタートEXが収録されている場合があります。その場合はパソコンの取扱説明書などを参照してインストールしたあと、らくらく無線スタートEXで設定してください。

Windows® 7の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AESです。
無線LAN内蔵パソコンの無線機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

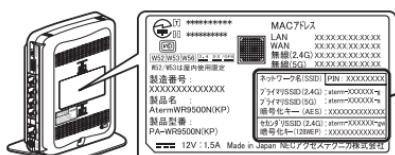
※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 接続するWR9500N (KP) のネットワーク名 (SSID) にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- ・セキュリティが設定されている場合（「WEP」、「WPA-PSK」など）
→ <WR9500N (KP) に暗号化が設定されている場合> (☞P4-7) へ
- ・「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
→ <WR9500N (KP) に暗号化が設定されていない場合> (☞P4-8) へ

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品側面のラベルに記載されています。

→ WEPにのみ対応している無線LAN端末（子機）から接続する場合は、セカンダリSSIDに接続してください。セカンダリSSIDは、本商品側面のラベルに記載されています。（2.4GHzモードのみ記載。5GHzモードの場合は末尾2桁が「aw」になります。）



WR9500N (KP)

工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

※接続する本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして「手動で設定する場合」(☞P4-9) の手順2へ進みます。

<WR9500N (KP) に暗号化が設定されている場合>

- 3 接続するWR9500N (KP) のネットワーク名 (SSID) をクリックする



4 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] または [キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [いい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1 (P4-6) から接続し直してください。



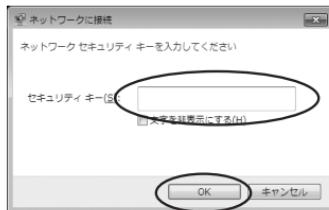
5

【セキュリティキー】に暗号化キーを入力して、【OK】をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品の側面のラベルに記載されています。
(☞P4-6)

※本商品で暗号化モードをWEP、暗号化キー一番号の2~4番を使用している場合は、【キャンセル】をクリックして、「手動で設定する場合」(☞P4-9)へ進みます。

本商品との通信状態は、「WR9500N (KP)との通信状態を確認するには」(☞P4-19)で確認してください。



3

接続するWR9500N (KP)のネットワーク名 (SSID) をクリックする



4

[接続] をクリックする



本商品との通信状態は、「WR9500N (KP) との通信状態を確認するには」
（☞P4-19）で確認してください。

●手動で設定する場合

1

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする
※[スタート]（Windows® のロゴボタン） – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2

[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



(次ページに続く)

表示される画面に合わせて暗号化の設定をおこなう

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品の側面のラベルに記載されています。(☞P4-6)

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

- ① [ネットワーク名] でWR9500N (KP) のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WPA-パーソナル] または [WPA2-パーソナル] を選択する
- ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する
- ④ [セキュリティキー] にWR9500N (KP) の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8~63桁の場合】英数記号 (0~9, a~z, A~Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	、	-
\$	(.	:	>]	{	}

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】16進数 (0~9, a~f, A~F)

- ⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑥ WR9500N (KP) でESS-IDステルス機能 (SSIDの隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストをおこなっていない場合でも接続する] にチェックを入れる
- ⑦ [次へ] をクリックする

〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

- ① [ネットワーク名] でWR9500N (KP) のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティキー] にWR9500N (KP) の暗号化キーを入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

【ASCII文字】

英数字で5文字 (本商品に64bitWEPを設定している場合)

英数字で13文字 (本商品に128bitWEPを設定している場合)

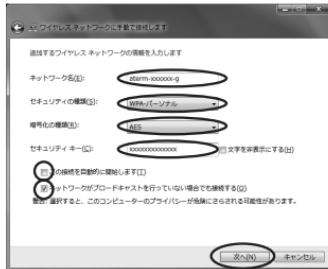
【16進数】

0~9・A~Fで10文字 (本商品に64bitWEPを設定している場合)

0~9・A~Fで26文字 (本商品に128bitWEPを設定している場合)

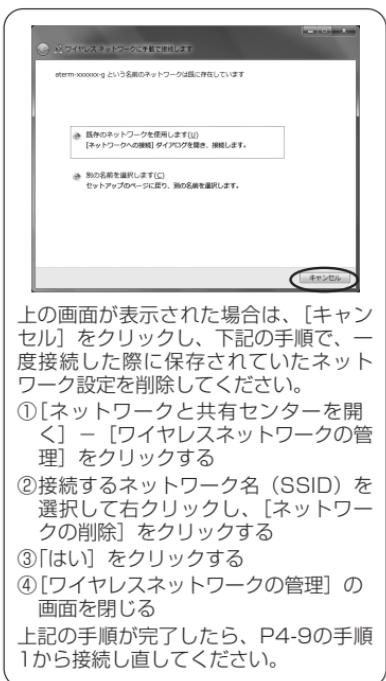
- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す

- ⑤ WR9500N (KP) でESS-IDステルス機能 (SSIDの隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストをおこなっていない場合でも接続する] にチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする



4

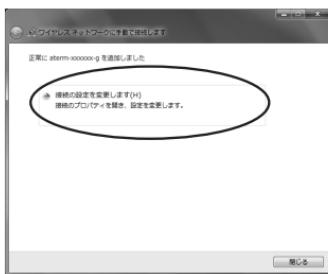
[接続の設定を変更します] をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ①[ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ②接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③「はい」をクリックする
- ④[ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

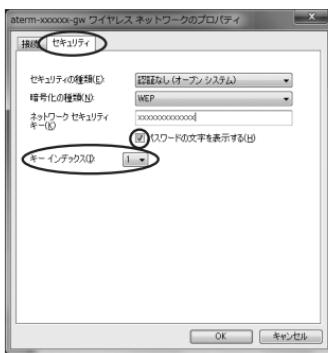
上記の手順が完了したら、P4-9の手順1から接続し直してください。



5

[セキュリティ] タブをクリックして設定内容を確認する

- ※「[パスワードの文字を表示する]」にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
- ※暗号化モードでWEPを使用する場合は、[キーインデックス] で本商品に設定したキーワードを選択します。



※画面は、暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

(次ページに続く)

6

【OK】をクリックする

7

【閉じる】をクリックする

8

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、WR9500N (KP) のネットワーク名（SSID）を選択し、【接続】をクリックする



以上でWR9500N (KP) との無線設定は完了です。



本商品との通信状態は、「WR9500N (KP) との通信状態を確認するには」
（☞P4-19）で確認してください。

Windows Vista® の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AESです。
無線LAN内蔵パソコンの無線機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

1 [スタート]（Windows® のロゴボタン）—[ネットワーク]—[ネットワークと共有センター]—[ネットワークに接続]をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして[ネットワークに接続]をクリックする方法もあります。

2 接続するWR9500N（KP）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合

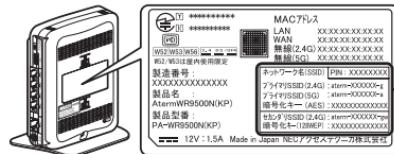
→<WR9500N（KP）に暗号化が設定されている場合>（☞P4-14）へ

・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合

→<WR9500N（KP）に暗号化が設定されていない場合>（☞P4-15）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、本商品の側面のラベルに記載されています。

→WEPにのみ対応している無線LAN端末（子機）から接続する場合は、セカンダリSSIDに接続してください。セカンダリSSIDは、本商品側面のラベルに記載されています。（2.4GHzモードのみ記載。5GHzモードの場合は末尾2桁が「aw」になります。）



WR9500N (KP)

工場出荷時のネットワーク名
(SSID) と暗号化キー

※接続する本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします]をクリックして「手動で設定する場合」（☞P4-16）の手順2へ進みます。

<WR9500N (KP) に暗号化が設定されている場合>

3 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①[ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする

②接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする

③[OK] をクリックする

④[ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1 (☞P4-13) から接続し直してください。

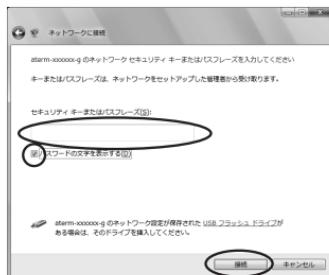


4 [セキュリティキーまたはパスフレーズ] に暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

※「パスワードの文字を確認する」にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品側面のラベルに記載されています。(☞P4-13)

※本商品で暗号化モードをWEP、暗号化キー番号の2~4番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(☞P4-16) へ進みます。



5 [閉じる] をクリックする



本商品との通信状態は、「WR9500N (KP) との通信状態を確認するには」(☞P4-19) で確認してください。

<WR9500N (KP) に暗号化が設定されていない場合>

3 [接続] をクリックする



4 [接続します] をクリックする



5 [閉じる] をクリックする



本商品との通信状態は、「WR9500N (KP) との通信状態を確認するには」
(☞P4-19) で確認してください。

接続する
無線LAN端末
(子機) を

●手動で設定する場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

- 2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3 表示される画面に合わせて暗号化の設定をおこなう

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品側面のラベルに記載されています。(☞ P4-13)

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

- ①[ネットワーク名] でWR9500N (KP) のネットワーク名 (SSID) を入力する
②[セキュリティの種類] で [WPA-パーソナル] または [WPA2-パーソナル] を選択する

- ③[暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する

- ④[セキュリティキーまたはパスフレーズ] にWR9500N (KP) の暗号化キーを入力する

※[パスフレーズ文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8~63桁の場合】英数記号 (0~9, a~z, A~Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	,	+	/	=	\	`	-
\$	(.	:	>]	{	

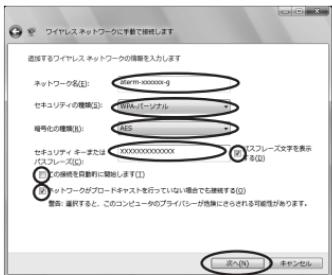
※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】16進数 (0~9, a~f, A~F)

- ⑤[この接続を自動的に開始します] のチェックを外す

- ⑥WR9500N (KP) でESS-IDステルス機能 (SSIDの隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェックを入れる

- ⑦[次へ] をクリックする



〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

- ① [ネットワーク名] でWR9500N (KP) のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティキーまたはパスフレーズ] にWR9500N (KP) の暗号化キーを入力する
ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
【ASCII文字】
英数字で5文字（本商品に64bitWEPを設定している場合）
英数字で13文字（本商品に128bitWEPを設定している場合）
【16進数】
0~9・A~Fで10文字（本商品に64bitWEPを設定している場合）
0~9・A~Fで26文字（本商品に128bitWEPを設定している場合）
- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑤ WR9500N (KP) でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、
[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェック
を入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする

【接続の設定を変更します】をク
リックする

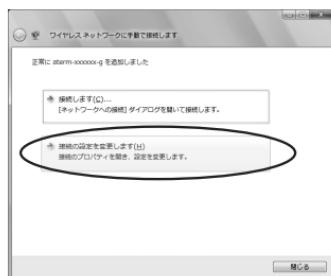
4



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] – [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P4-16の手順1から接続し直してください。



4

 接続する
無線LAN端末
(子機)を

(次ページに続く)

5

【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードでWEPを使用する場合は、
【キーインデックス】で本商品に設定した
キー番号を選択します。
※【パスワードの文字を表示する】にチェック
を入れると、入力文字が表示できます。



※画面は、暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

6

【OK】をクリックする

7

【接続します】をクリックする

8

WR9500N (KP) のネットワーク名 (SSID) を選択し、【接続】をクリックする

9

【閉じる】をクリックする



以上でWR9500N (KP)との無線設定は完了です。

本商品との通信状態は、「WR9500N (KP)との通信状態を確認するには」
(☞P4-19) で確認してください。

WR9500N (KP) との通信状態を確認するには

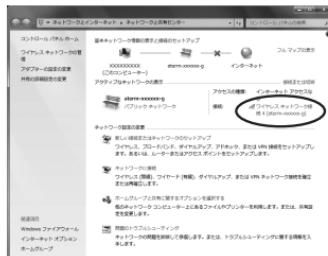
次の手順で通信状態を確認できます。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] をクリック

※Windows Vista® の場合は、[スタート] (Windows®のロゴボタン) – [ネットワーク] – [ネットワークと共有センター] をクリックします。

2 [ワイヤレスネットワーク接続] をクリックする

※Windows Vista® の場合は、「状態の表示」をクリックします。



3 無線設定が正しくおこなわれていることを確認する

- ・[状態] が「有効」になっていること
- ・[速度] が表示されていること
(表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。)



※画面はWindows® 7の場合の例です。

4 [閉じる] をクリックする

5

お困りのときには

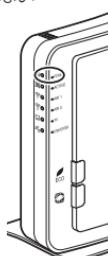
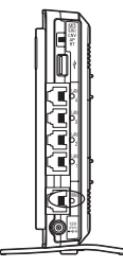
- | | | |
|-----|-------------|------|
| 5-1 | トラブルシューティング | 5-2 |
| 5-2 | 初期化する | 5-14 |

5

5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WR9500N (KP) を初期化し (☞P5-14)、はじめから設定し直してみてください。ただし、初期化をおこなうと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。なお、初期化をおこなう前に現在の設定内容を保存しておくことができます。(☞P3-57)

設置に関するトラブル

症 状	原因と対策
電源を入れたとき 	POWERランプが緑点灯しない <ul style="list-style-type: none">● ACアダプタが外れている →ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。● ACアダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れるとWR9500N (KP) に供給されている電源も切れてしまいます。● ACアダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタをコンセントから外して別途示すお問い合わせ先にご相談ください。● WR9500N (KP) の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。
WANランプが緑点灯しない 	<ul style="list-style-type: none">● ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源が入っていない →ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のリンクが確立できていることを確認してください。● WR9500N (KP) のWANポートがブロードバンドモ뎀または回線終端装置にLANケーブルで正しく接続されているか確認してください。 WANポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。● ECOモードを起動している →ECOモード起動中は、POWERランプのみゆっくり緑点滅し、他の前面・背面のランプは消灯します。 ECOモードを停止する場合は、ECOボタンを5秒以上押してください。● LANケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「LANケーブル（カテゴリー5eストレート）」であることを確認してください。● WR9500N (KP) のWANポートとWR9500N (KP) のLANポートを添付のLANケーブルで接続してみる。 背面のWANランプが点灯する場合 WR9500N (KP) は、問題ありません。 ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の故障が考えられます。 緑点灯しない場合 WR9500N (KP) を初期化してみてください。 それでも解決しない場合はWR9500N (KP) の故障が考えられます。別途示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。

症 状	原因と対策
<p>使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.0.XXXは、ハードウェアのアドレスが…と競合していることが検出されました。」といふアドレス競合に関するエラーが表示された</p>	<p>● [OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順をおこなってIPアドレスを再取得してください。</p> <p>＜IPアドレスの再取得＞</p> <p>① [スタート] (Windows®のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする</p> <p>② [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする</p> <p>③ 「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IPアドレスを解放する</p> <p>④ 「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押し、IPアドレスを取り直す</p> <p>⑤ IPv4アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXXは1を除く任意の数字)</p> <p>＜Mac OS Xの場合＞</p> <p>以下はMac OS X v10.6の場合の例です。</p> <p>① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する</p> <p>② [Ethernet] を選択する (本商品に無線で接続している場合は [AirMac] を選択する)</p> <p>③ [詳細] をクリックする</p> <p>④ [TCP/IP] タブをクリックする</p> <p>⑤ [DHCPリースを更新] をクリックする</p> <p>⑥ IPv4アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXXは1を除く任意の数字)</p> <p>⑦ [OK] をクリックする</p>
<p>クイック設定Webが表示されない</p>	<p>● プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorerの場合以下の設定をおこなってください。</p> <p>① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の順にクリックする</p> <p>② [LANにプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に本商品のIPアドレスを入れる ※本商品のIPアドレスは、本商品が接続しているネットワークのアドレス体系 (P5-12) を使用して、末尾を「211」にしたアドレスです。 例:P5-12で確認したアドレスが「192.168.0.3」の場合 →「192.168.0.211」と入力する</p> <p>● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常におこなえない場合があります。(P1-7)</p> <p>● 無線接続してクイック設定Webを表示させる場合、セカンダリSSIDに無線接続していると^(*)、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能 (P3-13) が設定されているため、クイック設定Webは表示できません。その場合は、いったん有線でWR9500N (KP) とパソコンを接続して、クイック設定Webを表示してください。設定が終わったら、再度無線接続してください。</p> <p>(*) AESに対応していない無線LAN端末 (子機) から無線接続する場合など。</p>

症 状	原因と対策
クイック設定Webが表示されない(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScriptが無効に設定されている →WWWブラウザの設定でJavaScriptを有効に設定してください。(●P1-10) ●パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりもWR9500N (KP) の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 <p>a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる b.〈IPアドレスの再取得〉(●P5-3)を参照して、IPアドレスを取り直す</p>
WWWブラウザでWR9500N (KP) にアクセスすると、ユーザー名と管理者者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● WWWブラウザでWR9500N (KP) にアクセスすると、ユーザー名と管理者者パスワードを要求されます。 →「ユーザー名」(上段)には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段)には、WWWブラウザでWR9500N (KP) に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。 
管理者パスワードを忘ってしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● WR9500N (KP) を初期化してください。この場合、設定した値はすべて工場出荷の状態に戻ってしまいます。(●P5-14) ただし、クイック設定Webの「メンテナンス」-「設定値の保存＆復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(●P3-57)
ACTIVEランプが橙点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ● WR9500N (KP) のIPアドレスが他の機器と競合しています。その場合は、下記の対処をおこなってください。 <ol style="list-style-type: none"> 競合している他の機器の電源を切る WR9500N (KP) からACアダプタを抜き、10秒以上たつたらWR9500N (KP) にACアダプタを接続する クイック設定Webを起動する(●P3-3) 「基本設定」-「[基本設定]」画面で、下記のように設定する <ul style="list-style-type: none"> ・[IPアドレス自動補正機能] : [使用する] のチェックを外す ・[IPアドレス/ネットマスク(ビット指定)] : <ul style="list-style-type: none"> 「IPアドレス」 →「P3-3の①」で確認したアドレスの末尾を「211」以外の値に変更して入力 (XXXは「211」以外の任意の値) 例: P5-12で確認したアドレスが「192.168.0.3」の場合 「192.168.0.XXX」(XXXは「211」以外の任意の値) 「ネットマスク(ビット指定)」 →「24」(「255.255.255.0」形式のネットマスクの場合) ⑤「設定」をクリックし、[保存]をクリックする 競合している他の機器の電源を入れる

症 状	原因と対策
ACTIVEランプが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ● ECOモードを起動している → ECOモード起動中は、POWERランプのみゆっくり緑点滅し、他の前面・背面のランプは消灯します。 ECOモードを停止する場合は、ECOボタンを5秒以上押してください。
[設定] をクリックしても、状態が保存されていない	<ul style="list-style-type: none"> ● [保存] をクリックしていない → 項目によっては、[設定] をクリックしても状態は反映されません。左側フレーム内の[保存]をクリックし、WR9500N (KP) を再起動する必要があります。
ブラウザからの応答がなくなってしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定Webでは、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、「詳細設定」-「LAN側設定」、または「無線LAN設定」-「無線LAN基本設定」の変更後、[設定] をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。 その場合は、いったんクイック設定Webを終了させて、以下の操作をおこなってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・有線接続している場合は、LANケーブルを抜き、約10秒待ってから差し直してください。 ・無線接続している場合は、本商品と無線LAN端末（子機）との無線設定をし直して、接続を確立させてください。 その後、再度クイック設定Webを起動し（☞P3-3）、[保存] をクリックしてください。 (WR9500N (KP) のIPアドレスを変更した場合は、再度クイック設定Webを起動する際、変更したIPアドレスを入力してください。) なお、[保存] をクリックせず、WR9500N (KP) の電源をOFFしたり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。
WR9500N (KP) のバージョンを確認したい	<p>クイック設定Webで確認することができます。 「情報」-「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。</p>
WR9500N (KP) が正常に動作しないが、原因がわからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定に誤りがある場合があります。 ※ どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（☞P5-14）
USBポートが利用できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ECOモード起動中は、ECO設定パターンによってはUSBポートが利用できなくなる場合があります。 USBポートをご利用になる場合は、ECOボタンを5秒以上押して、ECOモードを停止し、他のECO設定パターンを選択してください。（☞P3-30） ● USBポートは過電流監視機能を搭載していますので、WR9500N (KP) から給電される電流が過電流（500mA以上）となった場合、自動的に給電を遮断します。復旧させるには、過電流保護状態のUSBポートからUSBデバイスを取り外したあと、WR9500N (KP) に接続したパソコンからクイック設定Webで状態を復帰させます。操作方法は（☞P3-65）を参照してください。

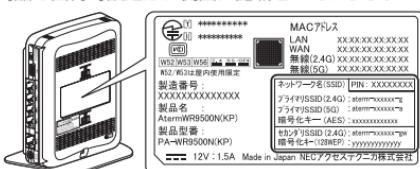
通信に関するトラブル

症 状	原因と対策
通信できない	<ul style="list-style-type: none">● ご使用の無線のネットワーク内で使用できる無線LAN端末(子機)は10台以下をお勧めします。● WR9500N (KP) の設定が正しくおこなわれていることを確認してください。(☞P3-2)
ダイヤルアップ接続の ウインドウが開いてくる	<ul style="list-style-type: none">● WWWブラウザやメールソフトの設定が、LAN接続の設定になっていない。 →LAN接続の設定になっているかどうかを確認してください。(☞P1-9)

無線LANに関するトラブル

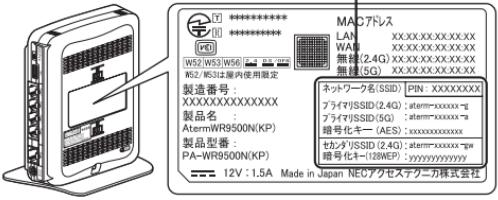
症 状	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● LANポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定Webの「無線LAN設定」 - 「無線LAN詳細設定」で設定し直してください。 ● Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で「[スキャン]」をクリックしてWR9500N（KP）を検索してください。ネットワーク名（SSID）でWR9500N（KP）を識別できます。 ● WR9500N（KP）側面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷時状態に戻す）をしてください。（☞P5-15）工場出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は本商品側面のラベルに記載されています。（☞P5-8）
データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● LANポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定Webの「無線LAN設定」 - 「無線LAN詳細設定」で設定し直してください。（☞P3-37） ● WR9500N（KP）側面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷時状態に戻す）をしてください。（☞P5-15）工場出荷時の暗号化設定は本商品側面のラベルに記載されています。（☞P5-8）
らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXが成功しない	<ul style="list-style-type: none"> ● WR9500N（KP）の電源がONになっていることを確認する →OFFになっていたらONにしてください。 WR9500N（KP）の無線LANモードが、無線LAN端末（子機）の通信可能なモードに対応していることを確認してください。 ● WR9500N（KP）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWERランプが緑点滅状態になったらいったん放します。手順にしたがって、もう一度らくらく無線スタートをおこなってください。 ● WR9500N（KP）のECOボタンを押してしまった →誤ってECOボタンを押してしまうと、ECOモードが起動し、無線LAN通信が利用できなくなってしまう場合があります。 (ECOモード起動中は、POWERランプのみゆっくり緑点滅し、他の前面・背面のランプは消灯します。) ECOモードを停止する場合は、再度ECOボタンを5秒以上押してください。 ● ドライバーが正しく入っていない →ご利用の無線LAN端末（子機）の取扱説明書をご覧ください。 ● らくらく無線スタートEXが正しくインストールされていない →別紙に記載のホームページから最新の「らくらく無線スタートEX」をダウンロードしてインストールしてください。 ● WR9500N（KP）の暗号化が解除されている →本商品の暗号化設定をおこなってください。（☞P3-8） ● WR9500N（KP）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →本商品のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合は、らくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（☞P3-11） ● 使用するネットワークにDHCPサーバとなる機器が存在しない →DHCPサーバとなる機器を設置してください。

症 状	原因と対策
らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXが成功しない(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定をおこなってください。 ●パソコンに設定された固定IPアドレスがWR9500N (KP) のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 (☞P1-8) ●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、別紙に記載のホームページからダウンロードした最新のソフトウェアを使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ●無線LAN端末（子機）のほかにネットワークデバイス（LANポートなど）が動作している →LANインターフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANポート機能を停止させてから、らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXで設定をおこなってください。 ●らくらく無線スタートEXの場合、無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ●WR9500N (KP) と無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度が一致していない →本商品に無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度を設定してください。 AESまたは128bitWEPに対応していない無線LAN端末（子機）を利用する場合、本商品の設定を変更する必要があります。 ●どうしても設定できない場合は、手動で設定してください。 Windows® 7およびWindows Vista® の場合は、「無線LAN内蔵パソコンから接続する」(☞P4-5) で設定してください。
WR9500N (KP) に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●WR9500N (KP) の電源が入っているか、確認してください。 ●WR9500N (KP) との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ●無線LAN端末（子機）のランプのつき方を確認してください。 ●ネットワーク名（SSID）があつてあるか確認してください。 WR9500N (KP) に合わせて設定してください。 ※本商品の出荷時設定は、側面に記載されています。



- 近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。
- 暗号化キーの設定がWR9500N (KP) と無線LAN端末（子機）とで一致しているかを確認してください。(☞P3-8)

症 状	原因と対策
WR9500N (KP) に接続できない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗号化設定（暗号化方式、強度、暗号化キー）があつてることを確認してください。 暗号化キーは、大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線LANカードによっては暗号強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 (例) 暗号強度 WEP64bit→40bit WEP128bit→104bit 暗号化キー Windows® XPのワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」MacintoshのAirMacでは「パスワード」
WR9500N (KP) と無線LAN端末（子機）間の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信モードがあつていてください。 本商品との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※ 通信モードは、Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合、 「セテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名 (SSID)」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかつたり通信が正常におこなえない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまつてはいる場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ① ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける (アドレス: 192.168.0.*、TCPポート番号: 23/53/75/80、 UDPポート番号: 69/161) ② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ● 「らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXが成功しない」(☞P5-7) も参照してください。 ● ECOモードを起動している →ECOモードを起動中は、ECO設定パターンによっては無線LAN通信が利用できなくなる場合があります。(ECOモード起動中は、POWERランプのみゆっくり緑点滅し、他の前面・背面のランプは消灯します) 無線LAN通信をご利用になる場合は、ECOボタンを5秒以上押して、ECOモードを停止するか、他のECO設定パターンを選択してください。(☞P3-30) ● コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近づぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数m以上離してお使いください。
セカンダリSSIDが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ● IEEE802.11bに対応している無線LAN端末（子機）によっては、セカンダリSSIDをサーチできない場合があります。この場合、SSIDを直接設定することにより、接続可能となります。 例) <セカンダリSSIDの初期値> 本商品側面のラベル「ネットワーク名 (SSID)」の下段に初期値が記載されています。 →aterm-xxxxxx-gw

症 状	原因と対策
接続する無線動作モードのネットワーク名(SSID)を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● LANポートに有線で接続したパソコンから、クリック設定Webの「情報」-「現在の状態」で確認してください。 ● WR9500N (KP) 側面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☞P5-15） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は本商品側面のラベルに記載されています。 <p style="text-align: right;">工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー</p> <div style="text-align: center;">  <p>WR9500N (KP)</p> </div> <p>側面のラベル「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリSSID、下段にセカンダリSSIDの無線設定内容（SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。</p>
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● LANポートに有線で接続したパソコンから、クリック設定Webの「無線LAN設定」-「無線LAN詳細設定」で設定を確認してください。 ● WR9500N (KP) 側面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☞P5-15） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は本商品側面のラベルに記載されています。（☞上記）
無線状態が良好なのに、通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● <IPアドレスの再取得>（☞P5-3）を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ● 固定IPアドレスでお使いの場合は、WR9500N (KP) と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例：本商品が192.168.0.211のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.X) ● 他のLANカードまたは、LANボードの機能を停止させてください。
無線状態が良好なのに、速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合は、サテライトマネージャ [プロパティ] - [状態] の「チャネル状況」で使用しているチャネルを確認し、クリック設定Webで使用する無線チャネルの番号を変更してください。 →クリック設定Webを起動して「無線LAN設定」-「無線LAN詳細設定」の「無線LANアクセスポイント（親機）設定」の「オートチャネルセレクト機能」で「[使用する]」のチェックを外し、「[使用チャネル]」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードが2.4GHzモードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから4チャネル以上ずらすようにしてください。 ● WR9500N (KP) と無線LAN端末（子機）が近すぎる →1m以上離してください。

症 状	原因と対策
AVサーバなどのストリーミングをしていると 画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> ●無線状態が悪い (WR9500N (KP) との距離が離れすぎている) →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 (☞P5-10) ●Atermシリーズの無線LAN端末 (子機) の場合は、サテライトマネージャのストリーミングモードを「ON」にする。 ●AVサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
TVランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●TVモードを「使用する」に設定していない状態で、WR9500N (KC) と5GHzモードかつ拡張モードでリンクが確立していない →クイック設定Webの「無線LAN設定」 - 「無線LAN詳細設定」の「TVモード」で「使用する」にチェックを入れるか、WR9500N (KC) と5GHzでかつ拡張モードで無線接続してください。
TVの画像が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●TVを見るための十分なスルーブットが得られていない →本商品と無線LAN端末 (子機) を近づけてみてください。

WR9500N (KP) が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する

WR9500N (KP) が接続しているネットワークのアドレス体系は、下記の手順で確認します。

Windows® 7/Windows Vista®の場合

- 1 [スタート] (Windows®のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする
 - 2 「ipconfig /all」と入力して、[Enter] キーを押す
 - 3 表示されたIPv4アドレスを確認する (画面例では、「192.168.0.3」)

控え欄



※画面はWindows® 7の場合の例です。

Mac OS Xの場合

- 1 アップルメニューの【システム環境設定】を開き、【ネットワーク】アイコンを選択する
- 2 [Ethernet] を選択する
※本商品に無線で接続している場合は【AirMac】を選択して【詳細】をクリックし、[TCP/IP] タブをクリックします。
- 3 表示されたIPアドレス（またはIPv4アドレス）を確認する（画面例では、「192.168.0.3」）

控え欄



画面は、Mac OS X (v10.6) を例にしています。上記OS以外をご利用の場合は、ご利用のOSマニュアルをご覧ください。

5

お困りのときには

5-2 初期化する

初期化とは、WR9500N (KP) に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。WR9500N (KP) がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WR9500N (KP) を初期化してはじめから設定し直すことをお勧めします。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法でおこなってください。

クイック設定Webで初期化する (☞下記)

RESETスイッチで初期化する (☞P5-15)

初期化しても、購入後にお客さまがバージョンアップしたWR9500N (KP) のファームウェアはそのままです。

クイック設定Webで初期化する

1 クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

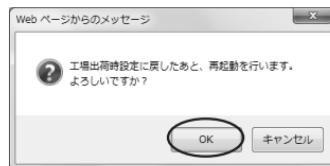
2 「メンテナンス」 – 【設定値の初期化】を選択する

3 【設定値の初期化】をクリックする

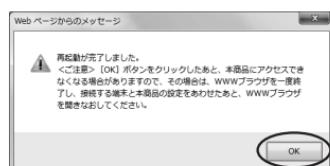


4 [OK] をクリックする

本商品が再起動します。



5 [OK] をクリックする



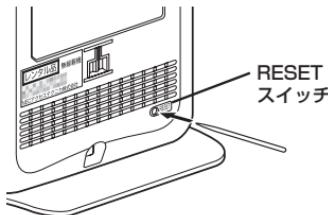
RESETスイッチで初期化する

WR9500N (KP) のRESETスイッチを使って初期化をおこないます。RESETスイッチは、側面にあります。

1 WR9500N (KP) の電源が入っていることを確認する

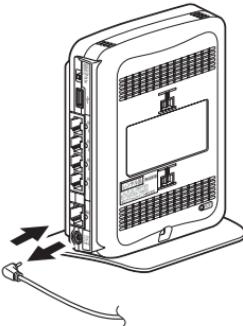
2 RESETスイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で押し続け、POWERランプが赤点滅をはじめたら放す

POWERランプが赤点滅するまで約6秒～10秒かかります。



3 WR9500N (KP) からACアダプタのプラグをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから再び差し込み1分ほど待つと、初期化が完了する

※本商品の前面ランプが一斉に緑点滅したあと、POWERランプが緑点灯したら初期化が完了します。



5

お困りのときは

お願い

- 本商品の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされパケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 本商品は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（本商品の側面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、本商品の設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（本商品の側面に記載）に戻してください。

6

付録

6-1 製品仕様 6-2

6

WR9500N (KP) 仕様

項目	諸元および機能		備考
WAN インターフェース	物理 インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×1ポート	
	インターフェース	WANポート 1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-Te *1	Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps *1	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
LAN インターフェース	物理 インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×4ポート	スイッチングHUB ×4ポート
	インターフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-Te *1	Auto MDI/MDI-X対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps *1	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
USB インターフェース	物理 インターフェース	USB2.0×1ポート USB Bus Power対応	High Speed(480Mbps) Full Speed (12Mbps) Low Speed (1.5Mbps)
無線LAN インターフェース	IEEE802.11n	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1～13ch [W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数 [HT20] 56、[HT40] 114 MIMO (空間多重) 方式
		伝送速度 *2	2.4GHz帯 最大300Mbps (HT40の場合) *3 5.2GHz帯 (W52) 5.3GHz帯 (W53) 5.6GHz帯 (W56) 最大450Mbps (HT40 の場合) *3 (自動フォールバック)

項目	諸元および機能		備考
無線LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル	[W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定
			[W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定
			[W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch
	伝送方式		OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数52
		伝送速度 *2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) / 1~13ch
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
		伝送速度 *2	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) / 1~13ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数52
		伝送速度 *2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
アンテナ	2.4GHz : 送信2×受信2 5GHz : 送信3×受信3 (内蔵アンテナ)		
	セキュリティ		SSID、MACアドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、 WEP (128/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)、 WPA2-PSK (TKIP、AES) ※IEEE802.11nではWPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)のみの対応
ヒューマンインターフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯
		ACTIVE	無線LANアクセスポイント(親機)モード時ネット通信状態表示 *4
		AIR1	2.4GHzモード無線通信状態表示 *4
		AIR2	5GHzモード無線通信状態表示 *4
		TV	TVモード通信状態表示 *4
		CONVERTER	無線LANアクセスポイント(親機)状態表示
		WAN	リンク確立状態表示 *4
		LAN1~4	リンク確立状態表示 *4
	スイッチ	ECOボタン×1 らくらくスタートボタン×1 RESETスイッチ×1	

項目	諸元および機能	備考
動作保証環境	温度0~40℃ 湿度10~90%	結露しないこと
外形寸法	約35 (W) ×111 (D) ×152 (H) mm	突起部除く
電源	AC100V±10% 50/60Hz	ACアダプタ使用
消費電力	17W (最大)	
質量 (本体のみ)	約0.3kg	ACアダプタを除く
VCCI	VCCIクラスB	

- *1： 本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbpsもしくは100BASE-TX、100Mbpsの方式での接続を推奨します。
- *2： 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
- *3： ご利用環境によっては、HT40/HT20モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20で接続される場合があります。
- *4： ECOモード起動中は消灯します。

MEMO

MEMO

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

● 本商品で使用しているソフトウェアについて

以下に本商品で使用しているソフトウェアのライセンス規約(原文)を記載します。

Copyright (c) 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004

The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Copyright (c) 1982, 1986, 1987, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS

"AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,

STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, Ihash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE. EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

WIDE Project

Copyright (c) 1995-1997 Akihiro Tominaga

Copyright (c) 1995-1997 WIDE Project All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied.

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

Common Public License Version 1.0

THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS COMMON PUBLIC LICENSE ("AGREEMENT"). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT'S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT.

1. DEFINITIONS

"Contribution" means:

- a) in the case of the initial Contributor, the initial code and documentation distributed under this Agreement, and
- b) in the case of each subsequent Contributor:
 - i) changes to the Program, and
 - ii) additions to the Program;

where such changes and/or additions to the Program originate from and are distributed by that particular Contributor. A Contribution "originates" from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do not include additions to the Program which: (i) are separate modules of software distributed in conjunction with the Program under their own license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents" mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program.

"Program" means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

"Recipient" means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

2. GRANT OF RIGHTS

a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative works, in source code and object code form.

b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form.

This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.

c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any.

For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.

d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and

b) its license agreement:

i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;

ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;

iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and

iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

a) it must be made available under this Agreement; and

b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.

Each Contributor must identify itself as the originator of its Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering.

The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense.

For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN 'AS IS' BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against a Contributor with respect to a patent applicable to software (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit), then any patent licenses granted by that Contributor to such Recipient under this Agreement shall terminate as of the date such litigation is filed. In addition, if Recipient institutes patent litigation against any entity

(including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware)

infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate,

Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time.

No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement.

IBM is the initial Agreement Steward. IBM may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections

2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.

This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.

Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensee, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensee provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an 'AS IS' BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an 'AS IS' BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

お願い

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。

NECアクセステクニカ株式会社

AtermWR9500N (KP) 無線LANご利用ガイド (K) 第1版

AM1-001953-001

2012年2月

